## 【多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業】

		2
		3 環境の整備
<b>尹</b> 木:	大心に向けた	<sup>保</sup> 売の主哺 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
〇他耳	敞種との連携	による 薬剤師のおためし訪問事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
		ついて【地域薬剤師会】・・・・・・・・・・・・・・・・・6
	実施手順に	ついて【薬剤師・薬局】7
		の連携による薬剤師のおためし訪問事業」事業のイメージ・・・・・・・・・・9
	「他職種と	の連携によるおためし訪問事業」事業フロー図(簡易版)10
	「他職種と	の連携によるおためし訪問事業」事業フロー図11
〇残	薬整理事業 ‥	27
	「残薬整理	事業」事業フロー図(簡易版)・・・・・・・・・・・・28
「残る	<b>薬整理事業</b> 」	事業フロー図・・・・・・・・・・・29
O在 <sup>5</sup>		薬剤師等との 同行訪問事業 ····· 32
	実施手順に	ついて【薬剤師・薬局】33
	「在宅医療	未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業のイメージ・・・・・・・・・34
	「在宅医療	未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロー図・・・・・・・・・・・35
様	式 集…	42
0	多職種連携	<b>続による薬局・薬剤師のおためし訪問事業</b>
	【様式1】	『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書 · · · · · · · · · · · · · · · · 43
	【様式2】	『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書 · · · · · · · · · · 45
	【様式3】	『薬剤師のおためし訪問』医師への事前連絡票 ・・・・・・・・・・・・・・・47
	【様式4】	『薬剤師のおためし訪問』実施報告書・・・・・・・・・・・・・・・・49
	【様式5】	『薬剤師のおためし訪問』実施評価書・・・・・・・・・・・・51
	【様式6】	『薬剤師のおためし訪問』成果報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
	【様式7】	残薬整理報告書 · · · · · · 55
	【様式8】	『お薬連携手帳』活用報告書・・・・・・・・・・・・・・・・57
0 ?	在宅医療未給	<b>経験薬剤師との同行訪問事業</b>
	【様式A】	『薬剤師の同行訪問事業』実施依頼書・・・・・・・・・・・・・・・59
	【様式®】	『薬剤師の同行訪問事業』に関する同意書 ・・・・・・・・・・・・・・・・61
	【様式©】	『薬剤師の同行訪問事業』実施後のアンケート・・・・・・・・・・・・63
	【様式®】	『薬剤師の同行訪問事業』実施報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65

## 「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」 実施要項

#### 1 事業の目的

今後、増加が見込まれる在宅患者に対して、薬剤師は残薬削減や重複投与防止、副作用の早期発見など、薬学的知見で貢献することができます。

しかしながら、在宅医療における薬剤師の業務が他職種及び患者家族や地域住民に十分に理解されていない状況にあります。

今後、在宅医療で安全・安心・適切な薬物療法の提供を推進するためには、他職種及び地域 住民に在宅医療における薬剤師の業務やその有用性を理解してもらうことが必要であること から、本事業を通じて他職種及び地域住民の理解促進を図り、もって、薬剤師への在宅訪問依 頼の件数増加を目指すものです。

#### 2 事業の内容

#### (1) 他職種との連携による薬剤師のおためし訪問事業

- ① 訪問看護師やケアマネジャー等の他職種が、薬剤の管理や服用、併用薬に関して不安があると感じた場合、在宅患者を訪問する際に薬剤師が同行させてもらい、薬学的管理を行います。
- ② 薬剤師が訪問の必要があると考える患者について、他職種に同行させてもらい、薬学的管理を行います。

#### (2) 在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業

- ① 在宅医療の経験のない(浅い)薬剤師が在宅訪問をする際に、経験豊富な薬剤師に同行してもらいます。
- ② 在宅医療の経験豊富な薬剤師が在宅訪問する際に、経験のない(浅い)薬剤師を同行させてもらいます。

#### (3) 残薬整理事業

薬局窓口及びおためし訪問において、自宅等に残薬がある方に対して残薬整理バッグを配布し、次回来局時又は訪問時に残薬を回収し、整理します。

#### 3 事業実施者

福島県内の保険薬局

「居宅療養管理指導」及び「在宅患者訪問薬剤管理指導」の届け出の有無は問いません。 ※ 事業終了後、在宅医療に移行される場合には、医療保険及び介護保険への届け出が必要になります。

#### 4 事業実施期間

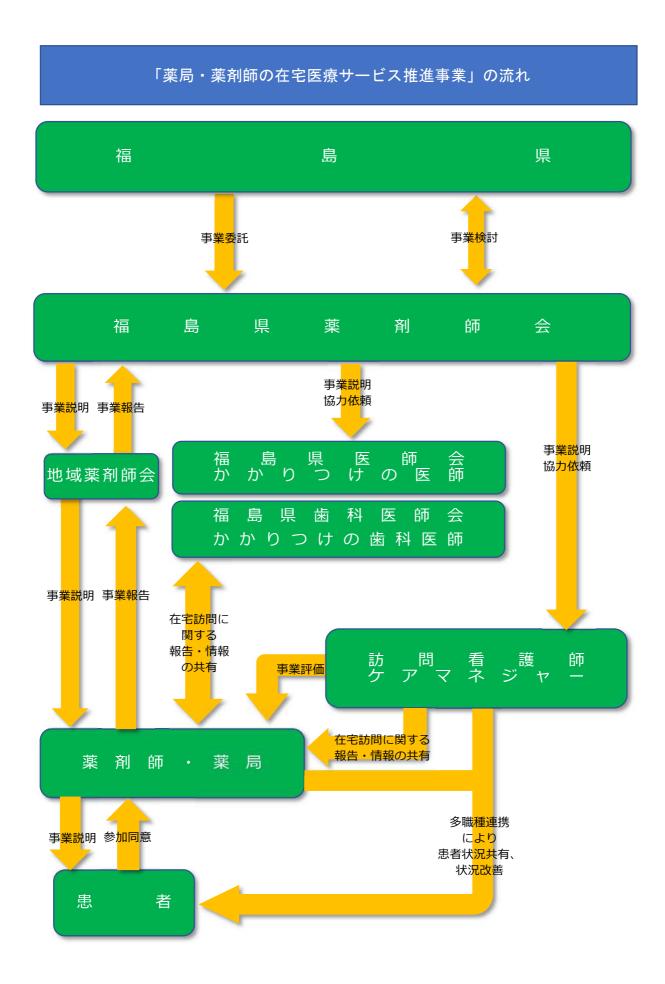
令和7年10月から令和8年3月まで

#### 5 事業実施に関する費用の負担について

- (1) おためし訪問・同行訪問の実施薬剤師には1回あたり800円を支給します。
- (2) 実施前に他職種と打ち合わせを行った薬剤師には1回あたり800円を支給します。
- (3) おためし訪問後に電話等を用いてアフターフォローを行った薬剤師には 1 回あたり 500 円を支給します。
- (4) 同行訪問の指導薬剤師には1回あたり5,000円を支給します。
- (5) 残薬整理を実施した薬剤師には1件あたり500円を支給します。

## 「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」 実施スケジュール

10 🗆		実施事業(青枠は県薬剤師会、オレンジ枠は地域薬剤師会)								
10月		福島県と業務委託契約を締結								
11月		県医師会、歯科医師会、看護協会、介護支援専門員協会、 訪問看護連絡協議会等への事業説明・協力依頼								
		地域薬剤師会・会員への事業説明動画の掲載								
		会員及び他職種との連携のための相談窓口の設置								
		各地域の医師会等の関係団体への事業説明・協力依頼								
		(所属する薬剤師会会員への事業説明会の開催)								
		(関係団体が開催する研修会等を活用した事業説明・協力依頼)								
		・PR ポスター・チラシ(一般向け・他職種向け)・県薬ホームページ								
11月		【各薬局においておためし訪問の実施 (準備のできた支部・薬局から随時)								
12月		薬剤師による在宅訪問 ↓								
1月		訪問結果を他職種・かかりつけ医師等に報告  → □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □								
2月	上旬	多職種による情報共有 → →								
	工切	【訪問実施結果を地域薬剤師会に報告(2/13 まで)】								
	中旬	他職種からの評価と合わせて報告								
	下旬	各薬局からの訪問実施結果を取りまとめ、 2月 24 日(火)までに県薬に報告								
3月		【事業実施結果の評価・検討・まとめ】 次年度以降の課題の検討及び実施結果の情報発信								



## 「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」 事業実施に向けた環境の整備

各地域 薬剤師会 ・他職種(訪問看護師・ケアマネジャー等)と、薬剤師等との連携にあたっての、相談窓口(担当者・連絡先)を設置

- ○地域の医師会等、関連する団体への事業説明及び協力依頼
- ○地域の介護関係職種等への事業説明及び協力依頼
- ○各関係団体の会員に向けた事業説明(各団体が開催する研修会等を活用して、事業説明を行う。)

## 報告

- (一行政、県医師会、県歯科医師会、県看護協会、県介護支援専門員協会、県訪問看護連絡協議会等への事業説明及び協力依頼
  - ・会員等への事業周知依頼(説明会の開催、チラシの配布等)
- ○各地域で開催される事業説明会へ の講師派遣等
- ・福島県薬剤師会ホームページ(一般サイト)に
  - ① 事業の概要
  - ② 各地域薬剤師会の相談窓口
  - ③ 使用する書類様式

等を掲載

福島県 薬剤師会

# 他職種との連携による 薬剤師のおためし訪問事業

## 「他職種との連携による薬剤師のおためし訪問事業」 実施手順について【地域薬剤師会】

#### 1 地域薬剤師会に相談窓口を設置

・ 当該事業を実施するにあたり、他職種や薬剤師会員から相談等を受け付ける窓口を設置してください。(福島県薬剤師会のホームページに各地域の相談窓口を掲載します。)

#### 2 関係団体等への事業説明及び協力依頼(11月~)

- ・ 郡市医師会・歯科医師会等の関係団体等に対して事業説明及び協力依頼を行ってください。
- 地域の介護関係職種等に事業説明及び協力依頼を行ってください。
  - ※ 各団体の会員に対して情報提供いただくよう依頼してください。

後日、各関係団体等への事業説明の実施状況についてお伺いいたします。

各地域の関係団体及び介護事業所等には本会から事業説明及びチラシ等を送付いたしますが、各地域薬剤師会においても事業実施及び協力依頼のご連絡をお願いいたします。

#### 3 薬剤師・薬局による訪問の実施(11月~2月中旬)※準備の整った支部・薬局から随時

- 薬剤師・薬局の実施内容は、P.7~8を参照してください。
- 対象患者の掘り起こし・紹介は以下のとおり実施します。
  - (A) 薬剤師(薬局)から、訪問が必要な患者への声掛けによる掘り起こし
    - ・薬学的管理に問題がある患者への声掛け
    - ・認知症治療薬を服用している患者(家族を含む)に声掛け
  - ® 訪問看護師、ケアマネジャー等、在宅医療関係者からの紹介
    - ・薬学的管理に問題がある患者の紹介
    - ・その他、薬剤師による薬学的管理を必要とする患者の紹介

#### 【事業開始の時期について】

11 月以降、事業内容を十分に理解いただき準備の整った薬局から、随時、事業を 開始してください。

#### 4 薬剤師・薬局からの報告書類の取りまとめ(2月中旬)

薬剤師・薬局から、以下の報告書類を回収し、取りまとめてください。

【様式 2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書

【様式5】『薬剤師のおためし訪問』実施評価書

【様式 6】『薬剤師のおためし訪問』成果報告書

#### 5 福島県薬剤師会に報告書類を提出(2月下旬)

一・ 令和5年2月24日(火)までに提出された報告書類を県薬事務局までお送りください。

#### 6 事業終了

- ・ お送りいただいた報告書類の内容は、本会で分析、評価を行い、事業報告書として取りまとめます。
- ・ 事業実施者への費用精算は、必要書類がすべて揃ったものを対象としますので、報告 書類の送り忘れ等にご注意ください。(提出期限厳守にてお願いします。)

## 「他職種との連携による薬剤師のおためし訪問事業」 実施手順について【薬剤師・薬局】

#### 1 福島県薬剤師会から事業実施に必要な資材を送付

### 送付する資材

- ① 事業実施に必要な様式(様式1から8) ※用紙不足の場合は、福島県薬剤師会ホームページからダウンロードしてください。
- ② 残薬整理バッグ
- ③ A5 チラシ 「たまってるお薬の整理 薬剤師にお任せください!」
- ④ お薬連携手帳
  - ※残薬バッグ・A5 チラシ・お薬連携手帳が不足した場合は、地域薬剤師会の相談窓口にご相談ください。
- 2 事業の実施(11月~2月中旬)※準備の整った薬局から随時実施。

#### 【準備の整った薬局とは】

(条件1) (地域薬剤師会が)地域の医師会への事業説明を終了していること (条件2) 会員が事業内容を理解していること

#### 対象患者の掘り起こし、紹介は下記のとおり実施します。

- A 薬剤師(薬局)から、訪問が必要な患者への声掛けによる掘り起こし
  - ・薬学的管理に問題がある方への声掛け
  - ・認知症治療薬を服用している患者(家族を含む)に声掛け
- ® 訪問看護師、ケアマネジャー等、在宅医療関係者からの紹介
  - ・薬学的管理に問題がある方の紹介
  - ・その他、薬剤師による薬学的管理を必要とする方の紹介
- (1) おためし訪問を実施する患者情報について、入手します。
  - ① おためし訪問を実施する患者に、事業参加への同意を得ます 【様式 1】『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書
  - ② おためし訪問を実施する患者の情報を把握します 【様式 2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書

- (2) 地域薬剤師会に訪問することを報告してください。 【様式 2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書
- (3) 訪問について、担当医に事前に電話で了解を得た後、情報を提供してください。
  - 【様式3】『薬剤師のおためし訪問』医師への事前連絡票
  - 【様式 2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書
- (4) 薬剤師と他職種が連携して訪問し、患者支援を実施してください。
- (5) 薬剤師は、患者宅を訪問した都度、担当医とケアマネジャー・訪問看護師に訪問の結果を報告してください。

【様式4】『薬剤師のおためし訪問』実施報告書

【様式2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書

- (6) 紹介者(訪問看護師等)から、事業実施後の状態について、評価を得てください。
  - 【様式 5】『薬剤師のおためし訪問』実施評価書
    - ※ 他職種以外が紹介者(患者家族等)の場合、事業実施前後の評価は紹介者 (患者家族等)から得てください。
- (7) 薬剤師は、おためし訪問の結果について報告書を作成してください。
  - 【様式6】『薬剤師のおためし訪問』成果報告書
- 3 地域薬剤師会に報告書を提出(2月13日(金)まで)
  - (1) 訪問終了後、以下の書類を提出してください。

【様式5】『薬剤師のおためし訪問』実施評価書(依頼者からの評価)

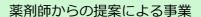
【様式6】『薬剤師のおためし訪問』成果報告書

【様式8】『お薬連携手帳』活用報告書

(残薬整理を行った場合)【様式7】残薬整理報告書

## 「他職種との連携による薬剤師のおためし訪問事業」事業のイメージ

他職種からの紹介による事業





他職種が在宅医療を行っている方で、薬学的管理に問題がある方を、 他職種から紹介してもらい、薬剤師 が一度、訪問してみるという事業



薬剤師が薬学的管理に問題があると 思われる方について、他職種と連携 の上、一度訪問してみるという事業



「利用者さんで、薬学的管理に問題 がある方がいましたら、ぜひ、お声 掛けください」と、他職種に依頼



「薬学的管理に問題があると思われる方を、一緒に訪問してください」 と他職種に依頼

事業実施期間は令和7年10月から令和8年2月中旬まで

## 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図(簡易版)



# 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 I-① 他職種からの紹介

- Ⅰ-①-1 「薬剤師のおためし訪問」について提案し、説明する。
- I-①-2 患者の同意を得る。
- I-①-3 薬剤師が訪問すること及び薬剤師に情報を提供することへの同意書を得る。

【様式1】『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書

I -①-2 いいですよ

I-①-1 お薬のことで薬剤師におためし訪問して もらってもいいですか?

I -①-3 おためし訪問に関する同意書を書いてください。

【多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業】

様式1(患者さま ⇒ 【ケアマネ・訪看等 ⇔ 薬剤師・薬局】)

#### 串者悉号

※串表情報の整理のため 薬局で記載

#### ҈҅『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書

【事業期間:令和5年10月~令和6年2月まで】

一般社団法人福島県薬剤師会が「令和5年度福島県地域医療介護総合確保基金事業」において、「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」として実施する『薬剤師のおためし訪問』について、私の個人情報を必要最低限の範囲で利用することに同意します。

令和 年 月 日

利用者名

<u>住 所</u> 氏 名

生年月日

(代理訂

樣式1

....

1 事業の目的

この事業は、在宅医療 果が生活に悪い影響を

さまの生活の質の向上を目指して実施します。

ど)に関する提案や、薬の効 点から在宅医療における患者

#### 2 個人情報を使用する目的

- (1) 事業を円滑に進めるために必要となる他職種への情報提供
- (2) 事業を実施したことによる効果の検証や報告書の作成のために行う福島県薬剤師会及び関係機関への情報提供

#### 3 提供する情報

氏名、性別、生年月日、年齡、住所、電話番号、利用医療機関等

#### 4 使用にあたっての条件

- (1) 得られた情報は、この事業に関わる者のみがデータを閲覧できるものとします
- (2) この事業で知り得た個人情報は、法律の規定がある場合等の例外を除き、明示した目的以外には使用しません

#### 5 事業終了後の個人情報の取扱いについて

事業終了後は、個人が特定される資料等はシュレッダーにかけて廃棄し、電子媒体については消去します ※この用紙は、「実施依頼書・確認書(様式2)」を薬局にお送りいただく際、または他職種から開取りを行う際にお送りください。 原本はケアマネ・訪看または薬局にて保管してください。

薬局名:

### Ⅰ-①-4 薬剤師におためし訪問の同意を得た方を紹介する。

【様式 1】『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書

※患者が記入済の同意書の写し

【様式 2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書



I-①-4 薬学的管理に問題がある方で、薬剤師の訪問について本人から同意を得ています。訪問をお願いします。

【様式 2】「実施依頼書・確認書」に必要事項を 記入し、【様式 1】「おためし訪問に関する同意書」 の写しを添えて紹介する



はい、伺います。

				【多職種連携	による薬局・	薬剤師の在宅医療サ-	- ビス推進事業
ま式2(【ケアマキ	· 訪看等 ⇔	薬局・薬	削師】	⇒ 地域薬剤	削師会 ⇒	福島県薬剤師会)	_
				依束	質日 令和	年	月
患者番号							
患者情報の整理のため		師のおた	- א\I ≣‡	問』実施は	₩ 輔 車 • 硝	: 沙土	
			- W) C (I)		N454 PE		
	薬ル	3 御中					
	Ŕ	₹頼者【□	アマネ:	ジャー・口割	問看護師・	口その他(	
		事業所名	3				
		作成者名	3				
		TEL.			FAX	ζ.	
		E-mail					
実施の経緯	□他職種から	の依頼	口薬局が	へらの提案	l		
患者氏名				m _	生年月日	大正・昭和・平月	<b></b>
思有氏名				男・女	生年月日	年 月	日(歳
	₹						
住 所							
				E.			
利用医療機関名				_			
利用医派服用石			= 7	_		iへの報告(	済・未
	□飲み忘:			T		□残薬が多	· (-)
	□飲みす					□副作用の	不安
薬剤師の訪問を	□薬につ					□多種類腸	長薬への不安
希望する理由	□薬剤のAD	Lへの影響	□他科	受診に伴う相	1互作用の不	「安 □QOLの	向上
	□排便コント	コール	□痛み	の管理		□多職種と	の連携
	□家族からの何	衣頼	口その	也 (			
薬剤師に関与し							
てほしい具体的 な課題・要望							
な課題・安里							
【薬局記入欄】	1						
薬局名					口訪問しま	す(訪問予定日	月 日
薬剤師名					口訪問でき		
訪問できない場合	との頭上→.	r=11/2	+1,				
100回できない場合	1、ての理由を	こ記入へた	C /,				
※ この用紙は.「d	者同意書(様式 1)	を添えてかれ	トりつけの8	部局にお送りく	ださい。(原本	は訪肴・ケアマネにで	呆管してくださ
※ 薬局では訪問の							

【多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業】
様式1(患者さま ⇒ 【ケアマネ・訪看等 ⇔ 薬剤師・薬局】)
患者番号
※患者情報の繁理のため、業局で記載 『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書
来判明のおたのしが同期へ関する同志音   事業期間:令和5年10月~令和6年2月まで]
一般社団法人福島県薬剤師会が「令和5年度福島県地域医療介護総合確保基金事業」において、「多職種近
携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」として実施する『薬剤師のおためし訪問』について、私
の個人情報を必要最低限の範囲で利用することに同意します。
令和 年 月 日
利用者名 住所
氏 名
生年月!
(代理) 4 4 (続柄)
— A表 TI
1 事業の目的 この事業は、在宅医療
果が生活に悪い影響と 点から在宅医療における患者
さまの生活の質の向上を目指して実施します。
2 個人情報を使用する目的
(1) 事業を円滑に進めるために必要となる他職種への情報提供
(2) 事業を実施したことによる効果の検証や報告書の作成のために行う福島県薬剤師会及び関係機関への情報提供
3 提供する情報
氏名、性別、生年月日、年齢、住所、電話番号、利用医療機関等
4 使用にあたっての条件
<ul><li>(1) 得られた情報は、この事業に関わる者のみがデータを閲覧できるものとします</li><li>(2) この事業で知り得た個人情報は、法律の規定がある場合等の例外を除き、明示した目的以外には使用しません</li></ul>
5 事業終了後の個人情報の取扱いについて
5 事業終了後は、個人が特定される資料等はシュレッダーにかけて廃棄し、電子媒体については消去します。
※この用紙は、「実施依頼書・確認書(様式 2)」を業局にお送りいただく際、または他職種から間取りを行う際にお送りください。
原本はケアマネ・訪看または楽局にて保管してください。
#□ <b>₽</b> .

I-①-5 地域薬剤師会に訪問の可否を報告する。

【様式 2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書

※依頼を受けた薬局から訪問できないと報告された場合、地域薬剤師会内で調

整の上、別の薬局に訪問を依頼することがあります。



I -①-5 他職種から依頼がありましたので、おためし訪問を 実施してきます。

【様式 2】「実施依頼書・確認書」に訪問の可否等を 記入し、地域薬剤師会に報告する

各地域薬剤師会

				【多職種連携	による薬局・	薬剤師の在宅医療サ-	ービス推進事業】
様式2(【ケアマネ	ト・訪看等 〈	⇒ 薬局・薬	剤師】	⇒ 地域薬剤	削師会 ⇒	福島県薬剤師会)	_
				依束	頁日 令和	年	月 日
患者番号							
※患者情報の整理のため		かいかき	. W. I <del>=+</del>	88 (st) +6: /-	+ ≠5 <del>=1</del> 7¢	:=11 <del>db</del>	
	梁	削師のおた	こめりし訳	问』天他!	以料書 ● 唯	総書	
	薬	局 御中					
		依頼者【□4	テアマネ	ジャー・口記	問看護師・	□その他(	)]
		事業所名					
		作成者名	- 3				
		TEL.			FAX	ζ.	
		E-mail					
					ī		
実施の経緯	口他職種か	らの依頼	口薬局が	いらの提案			
患 者 氏 名				男・女	生年月日	大正・昭和・平原	戉
25 16 25 16				,, ,	エーハロ	年 月	日(歳)
	〒						
住 所							
11.00 医皮状腺炎					67.47	•	
利用医療機関名			=	T -	師名	医師への報告(	(済・未)
	□飲み忘れて				ない	: □残薬が多	i
	□飲みすぎつ	4			:栄養	等) □副作用の	)不安
薬剤師の訪問を			□薬のタ	管理ができて			・ へ
希望する理由			□他科	 受診に伴う札	- 3互作用の不		
	□排便コンⅠ		□痛み			- · □ ~ □ 多職種と	
	□家族からの	)依頼	□その1	也 (			)
				•			
薬剤師に関与し							
てほしい具体的							
な課題・要望							
【薬局記入欄】							
薬局名					□訪問しま	きす(訪問予定日	月 日)
薬剤師名					□訪問でき	きません	
訪問できない場合	<ul><li>シ その押由:</li></ul>	たご記入 くだ	±1.5				
1001日 くら ない物に	コ、ての座田	とした人へだ	٧٠				
※ この用紙は、「別	者同意書(様才	) を添えてかす	いりつけの3	ぎ局にお送りて	ださい。(原木	は訪看・ケアマネにて	保管してください』
※ 薬局では訪問の					0 (/////////////////////////////////		
薬局名:							

## 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 I-② 薬剤師からの提案

- Ⅰ-②-1 「薬剤師のおためし訪問」について提案し、説明する。
- Ⅰ-②-2 薬剤師が訪問することについて、患者の同意を得る。
- I-②-3 他職種が薬剤師に情報を提供することへの同意書を得る。

【様式1】『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書

I-2-2 いいですよ

I-2-1 お薬のことで薬剤師がお宅に伺ってもいいですか?

I-2-3 他職種が薬剤師に情報を提供する ことへの同意書を書いてください。

【多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業】

様式1(患者さま ⇒ 【ケアマネ・訪看等 ⇔ 薬剤師・薬局】)

#### 串者悉号

※串表情報の整理のため 薬局で記載

#### 

【事業期間:令和5年10月~令和6年2月まで】

一般社団法人福島県薬剤師会が「令和5年度福島県地域医療介護総合確保基金事業」において、「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」として実施する『薬剤師のおためし訪問』について、私の個人情報を必要最低限の範囲で利用することに同意します。

令和 年 月 日

利用者名 住 所

氏 名

生年月日

(代理記

様式1

/ Auto I -

1 事業の目的

この事業は、在宅医療 果が生活に悪い影響を

さまの生活の質の向上を目指して実施します。

ど)に関する提案や、薬の効 点から在宅医療における患者

#### 2 個人情報を使用する目的

- (1) 事業を円滑に進めるために必要となる他職種への情報提供
- (2) 事業を実施したことによる効果の検証や報告書の作成のために行う福島県薬剤師会及び関係機関への情報提供

#### 3 提供する情報

氏名、性別、生年月日、年齡、住所、電話番号、利用医療機関等

#### 4 使用にあたっての条件

- (1) 得られた情報は、この事業に関わる者のみがデータを閲覧できるものとします
- (2) この事業で知り得た個人情報は、法律の規定がある場合等の例外を除き、明示した目的以外には使用しません

#### 5 事業終了後の個人情報の取扱いについて

事業終了後は、個人が特定される資料等はシュレッダーにかけて廃棄し、電子媒体については消去します ※この用紙は、「実施依頼書・確認書(様式2)」を薬局にお送りいただく際、または他戦種から開取りを行う際にお送りください。 原本はケアマネ・訪看または薬局にて保管してください。

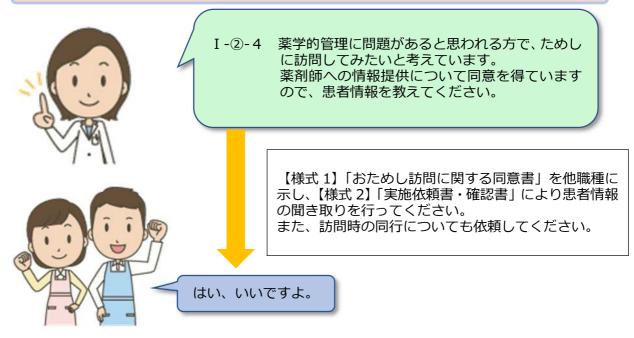
薬局名:

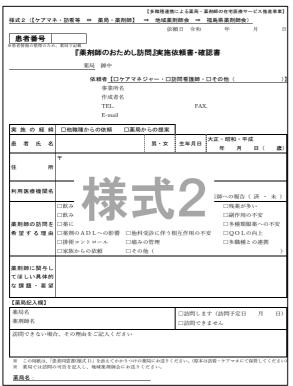
#### I-2-4 他職種から患者情報を聞き取る

【様式 1】『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書

※患者が記入済の同意書の写し

【様式2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書





【多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業】
様式1(患者さま ⇒ 【ケアマネ・訪看等 ⇔ 薬剤師・薬局】)
患者番号 無患者情報の整理のため、素制で試験 『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書
【事業期間:令和5年10月~令和6年2月まで】
一般社団法人福島県薬剤師会が「令和5年度福島県地域医療介護総合確保基金事業」において、「多職種連
携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」として実施する『薬剤師のおためし訪問』について、私
の個人情報を必要最低限の範囲で利用することに同意します。
令和 年 月 日
利用者名 住 所
氏 名
生年月1 (代理) 人名吉 (线柄)
1 事業の目的 この事業は、在宅医療 果が生活に悪い影響も さまの生活の質の向上を目指して実施します。
2 個人情報を使用する目的
<ul><li>(1) 事業を円滑に進めるために必要となる他職種への情報提供</li><li>(2) 事業を実施したことによる効果の検証や報告書の作成のために行う福島県薬剤師会及び関係機関への情報提供</li></ul>
3 提供する情報 氏名、性別、生年月日、年齢、住所、電話番号、利用医療機関等
4 使用にあたっての条件 (1) 得られた情報は、この事業に関わる者のみがデータを閲覧できるものとします
(2) この事業で知り得た個人情報は、法律の規定がある場合等の例外を除き、明示した目的以外には使用しません
5 事業終了後の個人情報の取扱いについて
事業終了後は、個人が特定される資料等はシュレッダーにかけて廃棄し、電子媒体については消去します
※この用紙は、「実施依頼書・確認書(様式2)」を薬局にお送りいただく際、または他職種から間取りを行う際にお送りください。
原本はケアマネ・訪看または薬局にて保管してください。
薬局名:

### I-2-5 地域薬剤師会に訪問することを報告する。

【様式 2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書



I-2-5 薬学的管理に問題があると思われる方について、患者さんの同意の上で、他職種から情報提供をいただきましたので、おためし訪問を実施してきます。



【様式 2】「実施依頼書・確認書」に聞き取った患者情報を記入し、地域薬剤師会に報告する

### 各地域薬剤師会

<ul> <li>試立2(【ケアマネ・訪看等 ⇔ 薬局・薬剤師】 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)</li> <li>依頼日 令和 年 月 日</li> <li>患者番号</li> <li>患者葡萄の整理のため、薬局で記載</li> <li>薬局 御中</li> <li>依頼者【ロケアマネジャー・□訪問看護師・□その他 ( )】</li> <li>事業所名作成者名 TEL. FAX. E-mail</li> <li>実施 の 経 韓 □他職種からの依頼 □薬局からの提案</li> <li>患者 氏名 男・女 生年月日 大正・昭和・平成年月日(歳)</li> </ul>
<ul> <li>患者番号</li> <li>患者前報の整理のため、薬局で記載</li> <li>薬局 御中</li> <li>依頼者【ロケアマネジャー・□訪問看護師・□その他 ( )】</li> <li>事業所名 作成者名 TEL. E-mail</li> <li>実施の経緯 □他職種からの依頼 □薬局からの提案</li> <li>書者氏名</li> </ul>
<ul> <li>(事業) (事業) (事業) (事業) (事業) (事業) (事業) (事業)</li></ul>
『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書  ※ 局 御中  依頼者【ロケアマネジャー・□訪問看護師・□その他 ( ) ) 事業所名 作成者名 TEL. FAX. E-mail  実施の経緯 □他職種からの依頼 □薬局からの提案  集 着 氏 名 男・女 牛年月日 大正・昭和・平成
薬局 御中
依頼者【□ケアマネジャー・□訪問看護師・□その他 ( )) 事業所名 作成者名 TEL. FAX. E-mail 実施の経緯 □他職種からの依頼 □薬局からの提案
事業所名 作成者名 TEL. FAX. E-mail 実 施 の 経 緯 □他職種からの依頼 □薬局からの提案 事 者 氏 名
作成者名 TEL. FAX. E-mail  実 施 の 経 緯 □他職種からの依頼 □薬局からの提案  事 者 氏 名   東 本 午年月日 大正・昭和・平成
TEL. FAX. E-mail  実施の経緯 □他職種からの依頼 □薬局からの提案  書、者、氏、名
E-mail 実 施 の 経 緯 □他職種からの依頼 □薬局からの提案
実 施 の 経 緯 □他職種からの依頼 □薬局からの提案  書 者 氏 名
患者氏名 男·女 牛年月日 大正・昭和・平成
患者氏名 男·女 牛年月日 大正・昭和・平成
表 者 氏 名 : 男・女 : 牛年月日 :
<del> </del>
主 所
利用医療機関名 ・
□ 以外 は □ 大衆か多い
□副作用の不安
薬剤師の訪問を □薬についての知識不足 □薬の管理ができていない □多種類服薬への不安
<b>希望する理由</b> □薬剤のADLへの影響 □他科受診に伴う相互作用の不安 □QOLの向上 □排便コントロール □痛みの管理 □多職種との連携
□家族からの依頼  □その他(    )
薬剤師に関与し
てほしい具体的
な課題・要望
薬局記入欄】
薬局名 □訪問します(訪問予定日 月 日)
薬剤師名 □訪問できません
訪問できない場合、その理由をご記入ください
初回できない場合、その柱田をこ記入ください -
※ この用紙は、「患者同意書(様式 1)」を添えてかかりつけの薬局にお送りください。(原本は訪看・ケアマネにて保管してください
※ 薬局では訪問の可否を記入し、地域薬剤師会にお送りください。
薬局名:

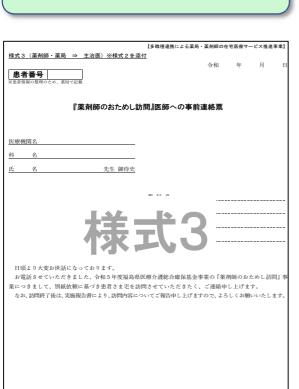
## 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 Ⅱ 医師への連絡

- Ⅱ-1 訪問する前に、医師に患者宅を訪問する旨、電話で連絡する。
- Ⅱ-2 医師の同意を得た後、「薬剤師のおためし訪問」について、連絡票を送る

【様式3】『薬剤師のおためし訪問』医師への事前連絡票

【様式2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書

- II-1 薬学的管理に問題があると思われる方なので、一度訪問してみてもよろしいでしょうか。
- II-2 ありがとうございます。 後ほど、「おためし訪問」の連絡票 をお送りします。

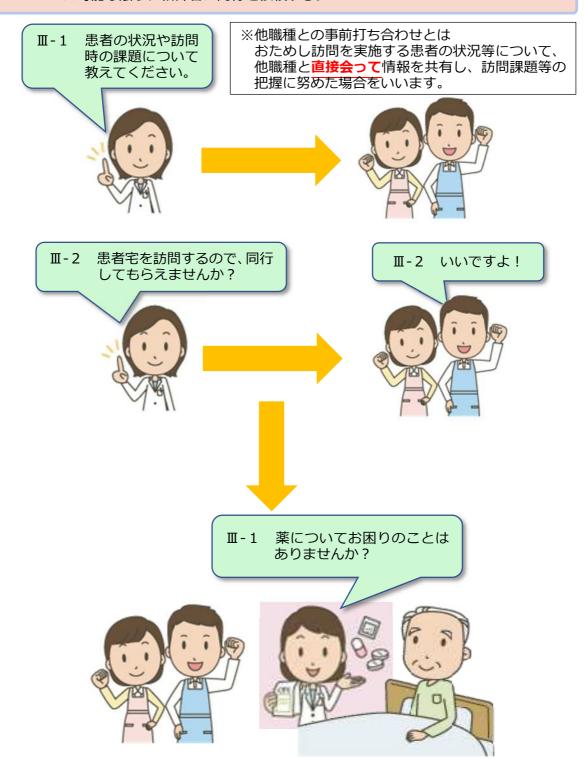




様式2(【ケアマネ	× - 計看等	つ 薬目	<b>旦</b> .蒸剂			による薬局・3 判師会 ⇒				上導
東式と (17) ・1	初個分	€ 9k/	0 , 34(Ha)	5IP		判師表 → 超日 令和	他四元	年	<u>-</u> 月	
患者番号		٦			13-5-1	MH 15-10		7	7	
(患者情報の整理のため		∟ 								
	ra	を剤師の	)おたと	りし訪り	問』実施的	衣頼書・確	認書			
		薬局 御	中							
		依頼者	i <u>【ロケ</u>	アマネジ	; ~-·□±	方問看護師・	ロその	他(		_
			業所名							
			成者名							
			EL.			FAX	ζ.			
		E-	-mail							
実施の経緯	□他職種	からの依	頼□	]薬局か	らの提案	Ь				
患者氏名	 			_	男・女	生年月日		・昭和・平月		
20 11 22 1					27 ~	エーハニ	全	₹ 月	日(	
	∓									
住 所	I									
	<b>—</b>				II-		_			_
利用医療機関名	ı	-	-				)			
	<u> </u>	<b>A</b>			-1		_	への報告		未
	□飲み		X					□残薬が多		
	□飲み							□副作用の		
薬剤師の訪問を			- EL SEE	- AL-54 m	450 to 00 5 4	n = /6 m = =		□多種類用		不:
希望する理由	□楽剤の A □排便コン			□他科労 □痛みの		3互作用の小		□QOLの □多職種と		
	□排便コン			□補みの □その他				□多輌種と	この連携	
	□家族がら	うの氏網		コその他	3 (					_
薬剤師に関与し	ı									
てほしい具体的	l									
な課題・要望	ı									
【薬局記入欄】										_
薬局名						□訪問しま		- 開子定日	月	
薬剤師名						□訪問でき			Л	
訪問できない場合		La attent	7 / 57 5				* 670			_
訪问できない場合	1、その理目	日をこ記り	((7:2	6.5						

## 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 Ⅲ 訪問前に他職種と打合せ・患者宅の訪問

- Ⅲ-1 訪問前に、他職種と連携して患者の状況や訪問時の課題等について打合せする。
- Ⅲ-2 紹介者と連携して、薬剤師が患者宅を訪問し、患者支援を実施する。
  - ※可能な限り、紹介者に同行を依頼する。

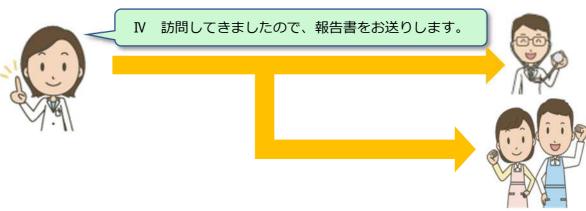


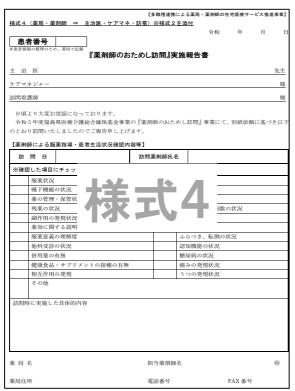
# 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 IV 訪問実施の報告

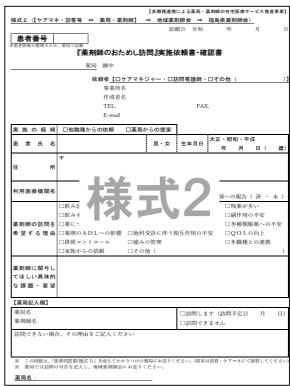
IV 患者宅を訪問した都度、訪問実施の報告書を作成し、担当医とケアマネジャー・訪問看 護師に報告する。

【様式4】『薬剤師のおためし訪問』実施報告書

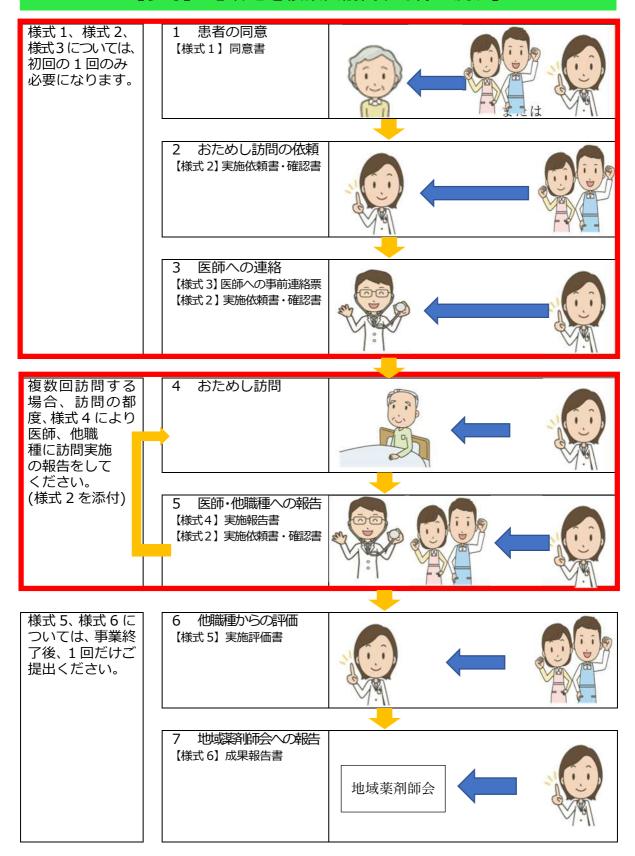
【様式2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書







## 【参考】「患者宅を複数回訪問する際の流れ」



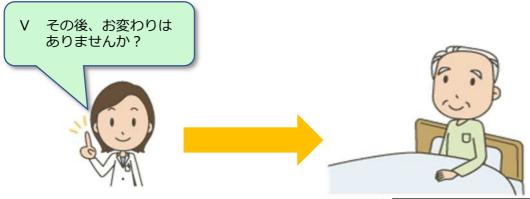
# 【参考】「患者宅を複数回訪問する際の流れ・報告書への記載」

				【多職種連携による薬	活・薬剤師の在宅医療			
<u>様式6(</u>	薬局・薬	剤師 ⇒ 地域薬	削師会 ⇒ 福島	<u>県薬剤師会)</u>				
<b>+</b> + x	Œ 🗖			報告	吉日 令和 5年	12月 15日		
患者都		り、薬局で記載						
A DE HAR	ク正生りため		割師のおためし	」訪問』成果報 <sup>。</sup>	告書			
0	○ 薬	剤師会 御中						
	<u> </u>	<u> </u>	薬	弱 名 <b>県薬○○○</b>	○薬局			
			薬剤					
			TEL	. 024-549-99	999 FAX.024-5	49-8888		
<b>『本本文刊年</b>	のわれる		事前打ち合わせ	』、『訪問』、『アフ	フターフォロー』の	D回数		
『衆用即 【患者情	のおため 転】		をご記入ください	ハ(訪問回数が 1	回の場合もご記	己入ください)		
L 心口目	□認足	まなし	性 別	男性 ・ 女性	年 齢	7 4 歳		
	口要求		12 ///	□独居 ☑夫娃				
	····二二: 左要∑		居住形態	口その他(	7	)		
介護	□要介	↑護 1		事前打合せ	おためし訪問	アフターフォロー		
認定	□要介	↑護 2						
状況	状況 □要介護3		回数	1 🛽	2 🛛	1 🗓		
	□要介	↑護 4	実施日	11月20日	11月22日	12月5日		
	□要∫	<b>↑護</b> 5	关心口		12月1日			
	□その	D他(				)		
【訪問内	容】				Harris Miller Liver			
		☑ 服薬状況 ☑ ADL	<ul><li>✓ 相互作用</li><li>✓ 管理・例</li></ul>		熊下機能の状況 OOL			
訪問	時に	<ul><li>✓ 残薬</li><li>□ 食事量・回数</li></ul>	□ 食欲 <b>☑</b> 薬効説明		前作用 作泄			
確認し		□効果	□ 睡眠		ふらつき・転倒			
		<ul><li>☑ 理解度</li><li>☑ 併用薬</li></ul>	<ul><li>✓ 他科受記</li><li>✓ 痛み</li></ul>		忍知症 建康食品・サプリメ	マント		
		<ul><li>□ うつ</li></ul>	□ その他	-	E/ACDCHE // //	)		
訪問時に	こ行った			ど使える薬には用途				
	管理の		いないとの話で睡眠薬を大量に服薬していたが、睡眠時間は十分である。 独居の寂しさ					
具体的	勺内 容		-ルも大量に摂取し					
薬の効果および								
おため	し訪問		暎による仕宅医療 しているが保険請	に移行(移行予定 求していない	)			
終了後	の対応	<ul><li>□ おためし訪問</li><li>□ その他(</li></ul>	事業のみで終了(ヨ	里由:		)		
薬剤師が	在宅医療		ていく上で、医療	とまり しゅう でんしょう まんだい まんだい まんしょう かいまん しゅう かいまん しゅう かいまん しゅう	せない重要なもので			
に関わる	ことにつ	体調を安定させる	らためにも薬は欠れ	かせないものであ	り、その専門家でる	ある薬剤師がより		
いてご意	見をお聞	一層、在宅医療に	取り組むことによ	り、本人の体調安	定と在宅生活の継続	続が見込まれると		
かせく	ださい	考えます。						
薬 局 名	- 具薬(	つのの薬局						

# 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 V 患者へのアフターフォロー

V おためし訪問によって改善した状況を継続させるため、電話等を用いてアフターフォローを行う。

【様式6】『薬剤師のおためし訪問』成果報告書



	,	. 1/							
			【多職種連携による薬	局・薬剤師の在室室	廃サービス推進事業1				
様式6 (	薬局・薬剤師 ⇒ 地	地域薬剤師会 ⇒ 福島		向 * 未刑帥の仕七匹	版り一 こへ推進争未】				
				日 令和 年	≐ 月 日				
	患者番号								
※患者情報	『薬剤師のおためし訪問』成果報告書								
	薬剤師会 御中		司 名						
			師名						
				FAX	ζ.				
『薬剤師のおためし訪問』を実施									
【患者情		T	Th						
	口認定なし			年 齢	歳				
	□要支援 1	── ■ ・ ● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		み 口複数世帯	┡ □施設入居				
	口要支援2	冶丘沙思	口その他(		)				
介護	口要介護 1		事前打合せ	おためし訪問	アフターフォロー				
認定状況	口要介護 2	回 数	0	回	•				
1000	□要介護 3								
	□要介護 5	実施日							
	口その他(				)				
【訪問内									
	□ 服薬状注 □ ADL	況 □ 相互作月 □ 管理・6	呆管状況 □ Q	下機能の状況 OL					
訪問	時 に □ 残薬 □ 食事量	<ul><li>□ 食欲</li><li>・回数</li><li>□ 薬効説明</li></ul>		作用  泄					
確認し	た項目 □ 効果 理解度	□ 睡眠	₹ □	らつき・転倒 知症					
	□ 併用薬	□ 痛み	□ 傾	康食品・サプリメ	マント				
	□ うつ	□ その他	(		)				
	こ行った				J				
	管理の 内 容				l				
共体									
おため	し訪問 □ 継続して	↑護保険による在宅医療 ご訪問しているが保険請	求していない	)					
終了後	の対応 □ おためし □ その他 (	ン訪問事業のみで終了(3 (	理由:		}				
薬剤師か	在宅医療								
	ことにつ				J				
	見をお聞								
	ださい								
薬局名	:		_						

【様式6】成果報告書内にアフター フォロー<mark>実施回数</mark>及び<mark>実施日</mark>を ご記入ください。

## 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 VI 紹介者への評価の依頼

VI 紹介者に、次回の訪問時に様子を見てきてもらい、薬剤師のおためし訪問の効果を評価 してもらう。

【様式5】『薬剤師のおためし訪問』実施評価書



VI 次回訪問時に、評価をお願いします。



※ 次回モニタリング時などの定期訪問の際で結構です。

				多職種連携による薬局・			業】	
様:	式5(	<u>ケアマネ・訪看等</u> ⇒ 薬局	· 薬剤師 ⇒ 地	」域薬剤師会 ⇒ 福				
					令和 年	月	日	
Ę	長者者	<del>통문</del>		ためし訪問』実施				
		り 軟田のより 茶日で日報		に評価をお願いしま			\ 1	
		-	<u>【ロケアマインヤ</u> 業所名	一 □ 訪問看護師	口ての他(		)]	
			**/シリーイコ 当者名					
		TF		FAX.	E-mail			
1	松合	評価(該当する項目にチェック		171/4.	L man			
Ė	100 🖂	服薬状況	_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7h **	状況	-1	
		訪問前 訪問後	訪問前	訪問後	訪問前	訪問後	,	
		□不良□不	良 □不 良	□不良	□不良:	□不	良	
	評価	<ul><li>□やや不良 □やや不.</li><li>□ほぼ良好 → □ほぼ良!</li></ul>			□ やや不良 : □ ほぼ良好 : •	<ul><li>□やや不</li><li>□にぼ良</li></ul>		
		□良 好 □良	好 □良 好	□良 好	□良 好	□良	好	
	特記	□その他・□その↑	也 □その他	□そ の 他	□そ の 他:	□その	他	
	事項							
2	「本	剤師のおためし訪!!						
	■ 薬会などの整理・f       一包化によって服3         ■ 素の整理箱、服業5       剤形変更 (口腔内身         1 日の服薬回数が3       類回受診、飲みす;         飲み残し、飲み克は       素に対する理解が1         相互作用が回避でもた。       QOしが向上した。         痛みの管理が改善した。       場所の負担が軽減された。         家族の負担が軽減された。       - 多職種連携が改善した。         その他 (       )							
		回の事業で、薬剤師との連携を						
		□有用であった □やや有月 	目であった □	]あまり有用でなかっ	った □有用で	なかった		
	4 今	そのように感じた理由をお聞かせくた 後の在宅医療・介護における。		見をお聞かせくださ	۶ L ۱۰۰			
		 ご協力あ	りがとうござい	ました。担当薬剤師	、薬局にご提出を	をお願いしま	す。	
	薬局	名:						

## 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 Ⅲ 紹介者からの評価

VII 紹介者から、患者宅を訪問した際の様子に関する評価をもらう。

【様式5】『薬剤師のおためし訪問』実施評価書



VII おためし訪問後の患者さん の状況を報告します!



ありがとうございます。

			【多	・職種連携による薬局・	薬剤師の在宅医療サ	ービス推進事業】			
様	式5(	ケアマネ・訪看等 ⇒ 薬局・薬							
					令和 年	月 日			
			を割師のおか	とめし訪問』実施					
	患者都	等号		こ評価をお願いしま					
<b></b>	忠者情報の	○整理のため、薬局で記載 <b>評価者【□</b>	ケアマネジャー	- 🗆 訪問看護師	口その他(	)]			
		事業所	f名						
		担当者	名						
		TEL.		FAX.	E-mail				
1	総合	評価(該当する項目にチェックし	てください)						
		服薬状況	管	理状況	残薬物	況			
		訪問前訪問後	訪問前	訪問後	訪問前	訪問後			
	評価	□ 不   良   □ ヤ や 不 良   □ ヤ や 不 良   □ や や 不 良   □ にぼ 良好   □ 良 好   □ そ の 他   □ そ の 他	□ 不 や で 良良 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	□不 良 □ やや不良 □ はぼ良好 □ 良 好 □ で の 他	□不 良 □やや不良 □はぼ良好 □良 好 □そ の 他	□不 良 □不 やで □ に □ に □ し □ と の 他			
	特記	· ·		·-					
	事項								
	2 「薬剤師のおためし訪問								
		回の事業で、薬剤師との連携をと							
	□有用であった □やや有用であった □あまり有用でなかった □有用でなかった  そのように感じた理由をお聞かせください  4 今後の在宅医療・介護における連携についてご意見をお聞かせください。								
	·			こした。担当薬剤師		お願いします。			

# 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 WII 地域薬剤師会への報告

- VⅢ 「おためし訪問」を実施した報告を地域薬剤師会に提出する。
  - ※ おためし訪問が終了するごとに地域薬剤師会に写しを提出してください。 (原本は各薬局で保管してください。)

【様式6】『薬剤師のおためし訪問』成果報告書

【様式5】『薬剤師のおためし訪問』実施評価書



VⅢ おためし訪問事業を 実施しました。 各地域薬剤師会

				局・薬剤師の在宅医	療サービス推進事業】
様式6(薬局	・薬剤師 ⇒ 地域薬	剤師会 ⇒ 福島	県薬剤師会)		
			報告	日 令和 年	月 月
患者番号	}				
※患者情報の整理	!!のため、薬局で記載				
	『薬	剤師のおためし	,訪問』成果報·	告書	
	薬剤師会 御中				
	SENIOREZ BALL	薬 ル			
		薬剤			
		TEL	*	FAX	ζ.
『薬剤師のま	ためし訪問』を実施し	すしたので 下記	のとおり報告しま	t-	
【患者情報】	70.00 0 10/10/2 0 0 0/10/0	a Dicio CC Tho	-> C 40 > TK II O &	, ,	
	namete de 1	At Dat	m.u. / 44		
l	□認定なし	性別	男性・女性	年 齢	歳
	□要支援 1	居住形態		のみ 口複数世界	幣 □施設入居
[	□要支援 2	ALL IVE	口その他(		)
介護 [	□要介護 1		事前打合せ	おためし訪問	アフターフォロー
認定 [	□要介護 2		l		
状況 「	□要介護3				
		4.5	EA a	_	
	□要介護 4				
_	□要介護 5				
	口その他(				)
	Y	<i>3</i> 78. – J			
【訪問内容】					
	□ 服	- 9	· — -		
	□ ADL □ 残薬	□ 管理・信 □ 食欲		OOL 単作用	
訪問時	に □ 食事量・回数			911-75   泄	
確認したコ	盲目 □ 効果	□ IMIR		らつき・転倒	
	□ 理解度	<ul><li>□ 他科受計</li><li>□ 痛み</li></ul>		EX用班 津康食品・サブリン	2 × h
	☐ 50°	□ その他		EORDEHH 2222	)
訪問時に行					
薬学的管:	里の				
具体的内	容容				
	□ brisk A illi/□	BALL L. V. Avdelsofald	に移行(移行予定	\	
おためし		陝による仕七広景 しているが保険請		,	
終了後の:	対応 □ おためし訪問	事業のみで終了(3	理由:		)
	□ その他(				)
薬剤師が在宅					
に関わること	につ				
いてご意見を	:お聞				
かせくだ	さい				
薬局名:	·				

				[ 9	職種連携による薬局・	薬剤師の在宅医療・	サービス推進事業】	٦
様	式5 (	ケアマネ・訪看等	⇒ 薬局・薬	剤師 ⇒ 地:	域薬剤師会 ⇒ 福	島県薬剤師会)		1
						令和 年	月 日	1
_	患者者	40	ra	軽剤師のお†	こめし訪問』実施	5評価書		1
		<b>計写</b> の整理のため、薬局で記載			に評価をお願いしま			1
300,20	SH IBHK	OMENIO LEO, SEMI CHUR	評価者 <u>【口</u>	ケアマネジャ-	<ul><li>□ 訪問看護師</li></ul>	口その他(	)	1
			事業所	f名				1
			担当者	名				-
			TEL.		FAX.	E-mail		1
1	総合	評価(該当する項目	にチェックし	てください)				.
		服薬状況		*	理状況	務業状況		
		訪問前		訪問前	訪問後	訪問前	訪問後	11
	評価	□不 良 □ やや不良 □ はぼ良好 → □ 良 好	<ul><li>□不 良</li><li>□やや不良</li><li>□ほぼ良好</li><li>□良 好</li></ul>	<ul><li>□不 良</li><li>□やや不良</li><li>□ほぼ良好</li><li>□良 好</li></ul>	□不 良 □やや不良 ■ □ほぼ良好 □良 好	□不 良 □やや不良 □ほぼ良好 • □良 好	□不 良 □やや不良 □ほぼ良好 □良 好	
	***	□その他:	□そ の 他	□その他	□その他	□そ の 他	: □その他	IJ
	特記事項							П
								1
2		剤師のおためし訪 薬袋などの整理・						1
		一包を保証を ・ では、 ・ では、	た。		<ul><li>□ ADLへの</li><li>□ 排便コント</li></ul>	・た。 ・・かかる時・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た。	
		回の事業で、薬剤師						1
		□有用であった	□やや有用で	あった 🗆	あまり有用でなかっ	た □有用で	なかった	_
		そのように感じた理由						
	4 今	後の在宅医療・介護	における連携	についてご恵	見をお聞かせくださ	٠٠٠.		٦
			ご協力ありぇ	がとうございま	した。担当薬剤師	、薬局にご提出を	さお願いします。	1
	薬局:	ž :			_			

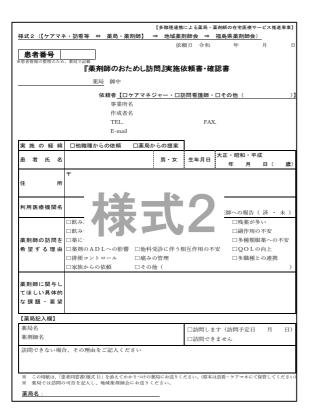
# 「他職種との連携によるおためし訪問事業」事業フロ一図 IX 地域薬剤師会から県薬剤師会への報告

IX-1 各地域薬剤師会では、報告書等一式を保管しておき、2月24日(火)までに取りまとめて福島県薬剤師会に送付する

#### 《資料一式》

- 【様式2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書
- 【様式5】『薬剤師のおためし訪問』事業評価書
- 【様式6】『薬剤師のおためし訪問』成果報告書
- ※【様式7】残薬整理報告書(残薬整理を行った場合)
- IX-2 福島県薬剤師会で、データを集計する。

各地域薬剤師会福島県薬剤師会



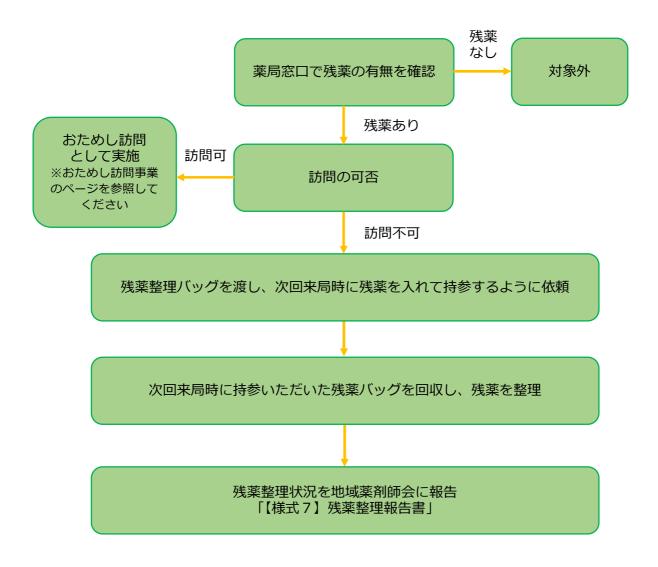


# 残薬整理事業

この事業では、残薬の定義を以下のとおりとさせていただきます。

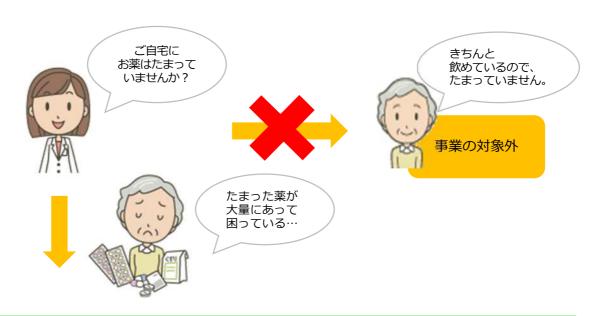
- 現在服用している薬について処方された薬以外に2週間以上残っているものを残薬とします
- 現在服用していない薬について現在服用していない薬は残薬とします。

## 「残薬整理事業」事業フロ一図(簡易版)



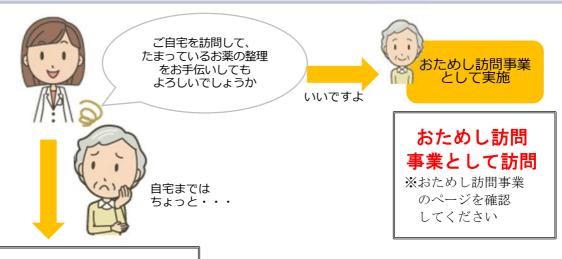
## 「残薬整理事業」事業フロ一図 I 患者への声かけ

I 来局した患者(家族等)に、飲み忘れ等で大量にたまってしまっている薬はないか声かけする。



## 「残薬整理事業」事業フロ一図 Ⅱ 自宅訪問の可否を確認

Ⅱ 残薬整理のため、自宅を訪問してよいか確認する。

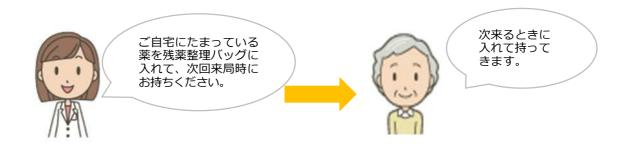


## 残薬整理事業として訪問

※次ページの実施内容 をご確認ください

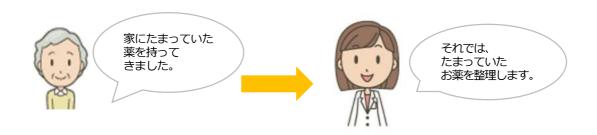
## 「残薬整理事業」事業フロ一図 Ⅲ 残薬整理バッグを渡す

Ⅲ 「残薬整理バッグ」を渡し、次回来局時に残薬を入れて持参いただく様に依頼。



## 「残薬整理事業」事業フロー図 Ⅳ 残薬整理バッグの回収・残薬の整理

IV 次回来局時に、持参した「残薬整理バッグ」を回収し、残薬を整理する。



患者が持参した残薬について整理してください。

- (例)すでに発生している残薬の整理
  - ・ 使える薬と使えない薬とを仕分けする(使えない薬は廃棄する)
  - ・ 使える薬を服用時点ごとにまとめて一包化する
  - ・ 使える薬の分を処方日数調整する (医師への疑義照会)
- (例) 今後、残薬が発生しないための方策の検討
  - お薬カレンダー等の活用
  - 服用方法の提案(剤形変更、服用時点変更等)

## 「残薬整理事業」事業フロ一図 V 残薬整理報告書の提出

V 残薬を整理した状況について、各地域薬剤師会に報告する。 【様式7】残薬整理報告書



おためし訪問事業として実施した残薬整理の場合、おためし訪問の報告書もご提出ください。

- ○おためし訪問時に残薬整理を行った場合
  - 【様式2】『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書
  - 【様式5】『薬剤師のおためし訪問』事業評価書
  - 【様式6】『薬剤師のおためし訪問』成果報告書

【様式7】残薬整理報告書

○来局時に残薬整理を行った場合

【様式7】残薬整理報告書

様式7 (薬局・薬剤師 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島			IBIOTE-CIAM 9	ービス推進事業
	TRUNCHIBITAE /	報告日 令	和 年	月
患者番号 おためし訪問時の残薬整理の場合、お <b>残薬整</b>	理報告書			
ためし訪問の患者番号と同じ番号を記 載してください。 第	局名			
米米同時の残業整理の場合は番号不要	割師名			
=	本人・家族	· その他 (		)
	47. W	- CONE (		
服用薬の種類種類				
【残薬の原因】※複数回答可				
□飲み忘れ □自己判断で中止 □受診日と処方日 □その他(	数の不一致	□服用方法。	との不一紋 □	]戦服の為
【残薬改善の工夫】※複数回答可				,
	□日数調恵	をの提案 (疑:	後照会等)	
□服薬方法の提案 (服薬時点変更・剤形変更等)				
□その他(				
【残薬数】	E.			
			面	金 額
A 7 -	式			
		1	_	
		調節・廃棄		
		調節・廃棄		
		000 Art 101 301		
		調節・廃棄		
		調節・廃棄	1	
		調節・廃棄		
		調節・廃棄		
		調節・廃棄	:	
	1	no en en so	. 1	
		調節・廃棄		
	34 +46-A	は事務局記え	整理効果額	1

# 在宅医療未経験薬剤師等との 同行訪問事業

### 「在宅医療未経験薬剤師との同行訪問事業」

実施手順について【薬剤師・薬局】

### 1 福島県薬剤師会から事業実施に必要な資材を送付

## 送付予定の資材

- ① 事業実施に必要な様式(様式A、B、C、D) (用紙不足の場合は、福島県薬剤師会ホームページからダウンロードしてください。) ※ 事業実施マニュアルは本会ホームページからダウンロードしてください。
- 2 事業の実施(11月から2月中旬)

### 同行訪問は、下記のとおり実施します。

- ④ 在宅医療の経験のない(浅い)薬剤師が在宅訪問をする際に、経験豊富な薬剤師に同行してもらいます。
- ® 在宅医療の経験豊富な薬剤師が在宅訪問する際に、経験のない(浅い)薬剤師を同行させてもらいます。
- (1) 同行訪問の調整を所属する地域薬剤師会に依頼します。

在宅医療の経験のない (浅い) 薬剤師が在宅訪問をする際に、経験豊富な薬剤師に 同行してもらう場合

在宅医療の経験豊富な薬剤師が在宅訪問する際に、経験のない(浅い)薬剤師が同行させてもらう場合

#### 【様式A】『薬剤師の同行訪問事業』依頼書

- ※在宅経験のない(浅い)薬剤師が在宅訪問する際に、経験豊富な薬剤師に同行してもらう場合、依頼書には患者情報を記載してください。
- (2) 同行訪問の実施 (P.35~41 をご覧ください)
- 3 地域薬剤師会に報告書を提出(2月中旬まで)
  - (1) 訪問終了後、在宅医療の経験豊富な薬剤師は、在宅医療の経験のない(浅い)薬剤師からのアンケートを添えて、報告書を提出してください。

【様式©】『薬剤師の同行訪問事業』実施後のアンケート

【様式®】『薬剤師の同行訪問事業』実施報告書

## 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業のイメージ

経験豊富な薬剤師に同行してもらう

経験豊富な薬剤師に同行させてもらう



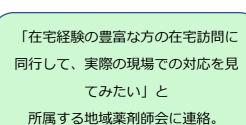
在宅経験のない薬剤師が在宅訪問する際に、経験豊富な薬剤師に同行してもらう事業



在宅経験の豊富な薬剤師が在宅訪問 する際に、経験のない薬剤師を同行 させてもらう事業



「医師から在宅訪問の指示がだされ たが自信がないので、一緒に行って くれる方を紹介して欲しい」と 所属する地域薬剤師会に連絡



事業実施期間は令和7年10月から令和8年2月中旬まで

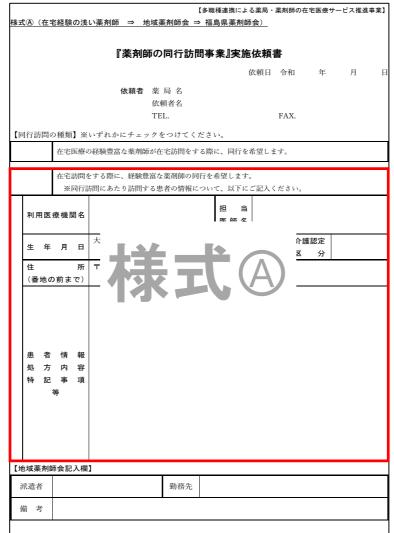
## 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロー図 I-① 在宅経験の浅い薬剤師が行う在宅医療への同行

- Ⅰ-①-1 在宅医療の経験の浅い薬剤師に在宅の指示が出される。
- I-①-2 在宅医療の経験の浅い薬剤師から、所属する地域薬剤師会に同行訪問を依頼する。

【様式④】『薬剤師の同行訪問事業』実施依頼書

※患者情報の記載が必要





# 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロ一図 I-② 在宅経験の豊富な薬剤師が行う在宅医療への同行

I-② 在宅医療の経験が少ない薬剤師が、在宅医療の経験豊富な薬剤師が行う在宅訪問に 同行したいと、所属する地域薬剤師会に依頼する。

【様式A】『薬剤師の同行訪問事業』実施依頼書

※患者情報の記載は不要



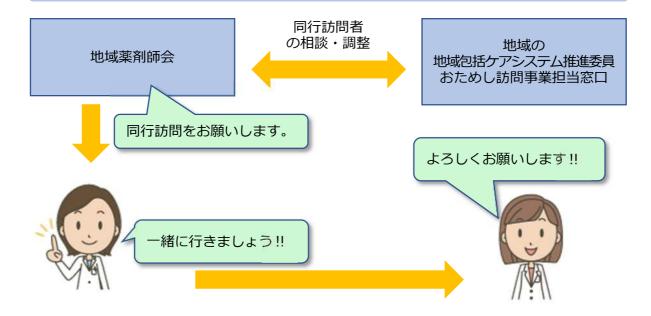
I-② 在宅医療の経験豊富な方の在宅訪問に 同行して、実際の現場での対応を 見てみたいです。

> 所属する 地 域 薬剤師会

								【多聊	機連携に	よる薬局・	薬剤師の	在宅医療サ	ービス推進	事業】
镁宝	t(A) (?	在宅経	験の浅	い薬	<b>削師 =</b>	⇒ 地均	<u>或薬剤師会</u>	⇒ 福	島県薬剤	師会)_				
					『薬	剤師	の同行記	方問事	業』実	施依頼	書			
										依頼日	— 令和	年	月	Е
					依刻	頁者	薬 局 名							
							依頼者名							
							TEL.				FAX.			
[ =	行訪	間の種	類】※	いず	れかにき	・エツ:	クをつけて	くださ	٥٠٠)					
		在	宅医療	の経験	豊富な劉	変剤師え	ぶ在宅訪問を	さする際	に、同行	を希望し	ます。			
							富な薬剤師の お患者の情報				ノゼナい			
			※1円1Ti	MIDI (C	めにり言	/JIPI 9 4	2ぶ有の 育乳	K1C.7()			/15 G 1,0			
	利用	医療機	幾関名						担節	当 夕				
				大:							-	護認定		
	生	年月	日		4		<u> </u>	_			<u> </u>	分		
	住	4	所	₹	$\mathbf{Z}$			-1		(Δ				
	(番)	也の前	まで)	$\vdash$			K _		6	V	<b>y</b> -			
			青 報											
		方内記事												
	19	等	9.											
[#	地域薬:	剤師会	記入欄	1]			-							
ù	派遣者						勤務先	ŧ						
Ú	前 考						•							
_														

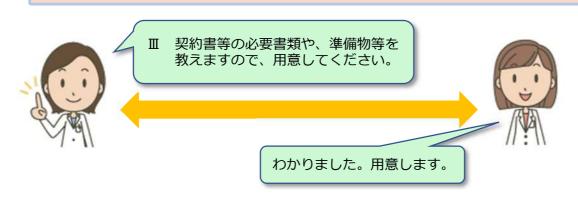
# 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロー図 Ⅱ 同行訪問者の調整

I 地域薬剤師会では、地域包括ケアシステム推進委員及び各地域薬剤師会のおためし訪問事業担当窓口等と連携し、派遣者を調整する。



# 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロー図 Ⅲ 同行訪問の準備

Ⅲ 患者宅への訪問に必要な準備物等について、事前に打ち合わせる。



# 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロ一図 IV 同行訪問の準備(患者の同意)

IV 薬剤師が同行訪問することについて、患者の同意を得る

【様式®】「薬剤師の同行訪問事業」に関する同意書

【多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業】
<u>様式® (患者さま ⇒ 薬剤師・薬局)</u>
『薬剤師の同行訪問事業』に関する同意書
【事業期間:令和5年10月~令和6年2月まで】
一般社団法人福島県薬剤師会が「令和5年度福島県地域医療介護総合確保基金事業」において、「多職種選
携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」として実施する『薬剤師の同行訪問』について、私の個
人情報を必要最低限の範囲で利用することに同意します。
<b>合和</b> 年 月 日
利用者名 住 所
氏 彳
<u> </u>
生年:
+ + + + - + - + - + - + - + - + - + - +
1 事業の目的
この事業は、在宅! して患者さまのお宅を
訪問し、薬剤管理・服
指して実施します。
2 個人情報を使用する目的 (1) 事業を円滑に進めるために必要となる他職種等への情報提供
(1) 事業を口角に進めるために必安となる地域種等への情報提供 (2) 事業を実施したことによる効果の検証や報告書の作成のために行う福島県薬剤師会及び関係機関への情報提供
3 提供する情報
(A) (現代) (3) (現代) (
4 使用にあたっての条件
(1) 得られた情報は、この事業に関わる者のみがデータを閲覧できるものとします
(2) この事業で知り得た個人情報は、法律の規定がある場合等の例外を除き、明示した目的以外には使用しません
5 事業終了後の個人情報の取扱いについて
事業終了後は、個人が特定される資料等はシュレッダーにかけて廃棄し、電子媒体については消去します
※原本は薬局にて保管してください。
薬局名:



『I-①在宅経験の浅い薬剤師が行う在宅医療への同行』 の場合、患者への同意は在宅経験の浅い薬剤師がとる





『I-②在宅経験の豊富な薬剤師が行う在宅医療への同行』 の場合、患者への同意は在宅経験の豊富な薬剤師がとる

※ どちらの患者を訪問するのかが判断基準となります。

# 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロー図 V 同行訪問

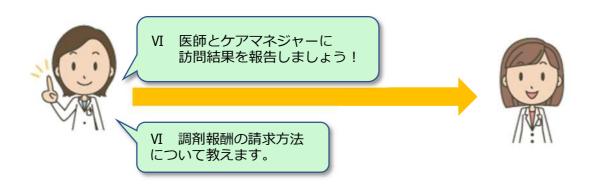
V 患者宅を訪問し、服薬指導等のアドバイスを行う。

V 「服薬指導の方法」 「残薬の確認」 「服薬支援の検討」 「多職種との連携」 などについて、経験豊富な薬 剤師がアドバイスします。



# 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロ一図 VI 報告・請求等

VI 訪問終了後、医師への報告書等の作成方法、報酬の請求方法等について説明する。



# 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロー図 Ⅷ 事業実施に関するアンケートの提出

VII 経験の浅い薬剤師は、同行訪問事業に関するアンケートを提出する。

【様式©】「薬剤師の同行訪問事業」実施後のアンケート調査



VII 訪問に同行してもらって 感じたことを報告します。

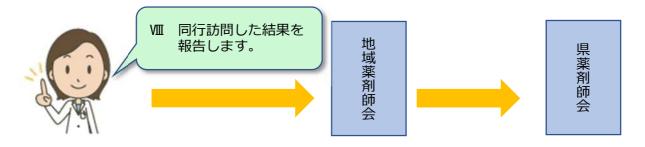


			[多]	※辞連推に	よる薬局・薬	剖師の在字に	医療サービス	推准事業]	
様式①(経り	験の浅い薬剤師 ⇒	経験豊富な						正是子未了	
13.249 (42.	A THE PARTY OF THE	114人亚田 6.	45713PP	-0-227	167.24	шукжиз			
	『薬剤師の同行訪問事業』実施後のアンケート								
	楽	削帥の同行	訪問事業.	美施後	とのアンケ	<b>−</b> ⊦			
					報告日	<b>令和</b>	年 月	I H	
このアン	ケートは 左字訪問	の経験典宣かす	変割師に話問	に同行し	ておらうこ	レビトハフ	- どのよう	に成じら	
このアンケートは、在宅訪問の経験豊富な薬剤師に訪問に同行してもらうことによって、どのように感じられたか等を把握し、次年度以降につなげていくためのものです。									
【依頼した	薬剤師の情報】		•						
氏 名			薬局名						
性別	男・女	年 齢		歳代	薬局での 通算勤務年	約	1	年間	
在宅医療	□ ある-経験年	数(	年前くらいか	ら年に	回く	らい)			
の経験	□ ない-その理	由 (						)	
無菌調剤	□ ある-経験し	た場所∫□現宿	生の勤務先	□以前勤	めていた薬	局 □以前	前勤めている	た病院	
の経験									
【勤務する薬局の情報】									
調剤基本		12		P //		11	21:111±0	-	
の区分	(				1	名	非常勤	名	
【同行訪問	事業に参加して感じ	たこと】							
1 在宅医	療に対して、今まで	で以上に積極的	かに取り組み	たいです	か				
	そう思う 🗆 キ	Pやそう思う	□ 今ま	でと変わ	らない [	□ わから	ない		
2 多職種	との連携に、今まで	で以上に積極的	に取り組み	たいです	か				
	そう思う 🗆 🤫	やそう思う	<ul><li> 今ま</li></ul>	でと変わ	らない [	□ わから	ない		
3 今後、	在宅医療への依頼が	があった際に、	対応したい	ですか					
	そう思う 🗆 🗝	らやそう思う	□ 今ま	でと変わ	らない [	□ わから	ない		
4 同行討	問事業に参加しての	D感想(よかっ	た点やもっ	と教えて	ほしかった。	点など)を	·お聞かせく	ださい。	
*	(ご協力ありがとう	j ございました	この用紙	は訪問に	同行いただい	<b>小た薬剤師</b>	iにご提出く	ださい。	

# 「在宅医療未経験薬剤師等との同行訪問事業」事業フロー図 WII 地域薬剤師会・県薬剤師会への報告

Ⅷ 経験豊富な薬剤師は、経験の浅い薬剤師からの回収したアンケートを添えて、同行結果 について地域薬剤師会に報告書を提出する。

【様式①】「薬剤師の同行訪問事業」実施報告書







# 令和6年度福島県地域医療介護総合確保基金事業

# 「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」

# 様 式 集

$\bigcirc$	他職種との連携	<b>特による薬剤師のおためし訪問事業</b>
	【様式1】	『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書 P.43
		『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書(記載例) P.44
	【様式2】	『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書 P.45
		『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書(記載例) P.46
	【様式3】	『薬剤師のおためし訪問』医師への事前連絡票 ······P.47
		『薬剤師のおためし訪問』医師への事前連絡票(記載例) ······ P.48
	【様式4】	『薬剤師のおためし訪問』実施報告書 P.49
		『薬剤師のおためし訪問』実施報告書(記載例)P.50
	【様式5】	『薬剤師のおためし訪問』実施評価書P.51
		『薬剤師のおためし訪問』実施評価書(記載例) P.52
	【様式6】	『薬剤師のおためし訪問』成果報告書P.53
		『薬剤師のおためし訪問』成果報告書(記載例)P.54
$\bigcirc$	残薬整理事業	
	【様式7】	残薬整理報告書P.55
		残薬整理報告書(記載例) · · · · · P.56
$\circ$	在宅医療未経験	検薬剤師等との同行訪問事業
	【様式A】	『薬剤師の同行訪問事業』実施依頼書 ······P.57
		『薬剤師の同行訪問事業』実施依頼書(記載例) P.58
	【様式®】	『薬剤師の同行訪問事業』に関する同意書 P.59
		『薬剤師の同行訪問事業』に関する同意書(記載例) · · · · · · · P.60
	【様式©】	『薬剤師の同行訪問事業』実施後のアンケート ·····・P.61
		『薬剤師の同行訪問事業』実施後のアンケート(記載例) P.62
	【様式®】	『薬剤師の同行訪問事業』実施報告書 ······P.63
		『薬剤師の同行訪問事業』実施報告書(記載例) ······P.64

#### 様式1(患者さま ⇒ 【ケアマネ・訪看等 ⇔ 薬剤師・薬局】)

Ф	<b>±</b>	亚	
忠	石	④	Ħ

※患者情報の整理のため、薬局で記載

### 『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書

【事業期間:令和7年10月~令和8年2月まで】

一般社団法人福島県薬剤師会が「令和7年度福島県地域医療介護総合確保基金事業」において、「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」として実施する『薬剤師のおためし訪問』について、私の個人情報を必要最低限の範囲で利用することに同意します。

令和	年	月	日					
利用者	名	住 所						 
		氏 名						
		生年月日		<u>性別</u>	男・女_	<u>電話番号</u>		 
		(代理記)	入の場合)代理者氏	名			(続柄)	

#### 1 事業の目的

この事業は、在宅医療に薬剤師が関わり、薬の管理(飲み忘れや飲み残しなど)に関する提案や、薬の効果が生活に悪い影響を与えていないか等の観察を行うことにより、薬学的観点から在宅医療における患者さまの生活の質の向上を目指して実施します。

#### 2 個人情報を使用する目的

- (1) 事業を円滑に進めるために必要となる他職種への情報提供
- (2) 事業を実施したことによる効果の検証や報告書の作成のために行う福島県薬剤師会及び関係機関への情報提供

#### 3 提供する情報

氏名、性別、生年月日、年齢、住所、電話番号、利用医療機関等

#### 4 使用にあたっての条件

- (1) 得られた情報は、この事業に関わる者のみがデータを閲覧できるものとします
- (2) この事業で知り得た個人情報は、法律の規定がある場合等の例外を除き、明示した目的以外には使用しません

#### 5 事業終了後の個人情報の取扱いについて

事業終了後は、個人が特定される資料等はシュレッダーにかけて廃棄し、電子媒体については消去します ※この用紙は、「実施依頼書・確認書(様式2)」を薬局にお送りいただく際、または他職種から聞取りを行う際にお送りください。 原本はケアマネ・訪看または薬局にて保管してください。

薬局名	:	

#### 様式1(患者さま ⇒ 【ケアマネ・訪看等 ⇔ 薬剤師・薬局】)

# 患者番号 1

※患者情報の整理のため、薬局で記載

### 『薬剤師のおためし訪問』に関する同意書

【事業期間:令和7年10月~令和8年2月まで】

一般社団法人福島県薬剤師会が「令和7年度福島県地域医療介護総合確保基金事業」において、「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」として実施する『薬剤師のおためし訪問』について、私の個人情報を必要最低限の範囲で利用することに同意します。

令和 7年 12月 1日

#### 利 用 者 名 住 所 福島市蓬莱町五丁目〇〇番地の〇

氏 名 県薬 太郎

生年月日 **S 2 5** 1 2 3 1 性別 男 · 女 電話番号 024-549-0000

(代理記入の場合)代理者氏名

(続柄)

#### 1 事業の目的

この事業は、在宅医療に薬剤師が関わり、薬の管理(飲み忘れや飲み残しなど)に関する提案や、薬の効果が生活に悪い影響を与えていないか等の観察を行うことにより、薬学的観点から在宅医療における患者さまの生活の質の向上を目指して実施します。

#### 2 個人情報を使用する目的

- (1) 事業を円滑に進めるために必要となる他職種への情報提供
- (2) 事業を実施したことによる効果の検証や報告書の作成のために行う福島県薬剤師会及び関係機関への情報提供

#### 3 提供する情報

氏名、性別、生年月日、年齢、住所、電話番号、利用医療機関等

#### 4 使用にあたっての条件

- (1) 得られた情報は、この事業に関わる者のみがデータを閲覧できるものとします
- (2) この事業で知り得た個人情報は、法律の規定がある場合等の例外を除き、明示した目的以外には使用しません

#### 5 事業終了後の個人情報の取扱いについて

事業終了後は、個人が特定される資料等はシュレッダーにかけて廃棄し、電子媒体については消去します ※この用紙は、「実施依頼書・確認書(様式2)」を薬局にお送りいただく際、または他職種から聞取りを行う際にお送りください。 原本はケアマネ・訪看または薬局にて保管してください。

#### 薬局名: 県薬〇〇〇〇薬局

#### 様式2(【ケアマネ・訪看等 ⇔ 薬局・薬剤師】 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)

依頼日 令和 年 月 日

中	ᆂ	亚	
_	7	_	
75.3	ъ	Ħ	~

※患者情報の整理のため、薬局で記載

	『薬剤師	市のおた	:めし訪	問』実施的	依頼書∙確	認書			
	薬局	御中							
	依東	頼者 <u>【ロク</u> 事業所名 作成者名 TEL. E-mail	名	<u>ジャー・□訂</u>	<u>訪問看護師・</u> FAX		(		)]
実施の経緯	口他職種からの	の依頼	□薬局な	からの提案					
患 者 氏 名				男・女	生年月日	大正・昭 年	日和・平 月	<sup>Z</sup> 成 日(	歳)
住 所	₸								
利用医療機関名					担当医師名		の報告	(済・	未 )
薬剤師の訪問を 希望する理由		まう 知識不足 への影響 ール	□嚥下	困難への対応 管理ができて 受診に伴う相 の管理	んでくれない 芯(経管栄養 ていない 相互作用の不	等) 口i 口i 安 口i	QO L	の不安 服薬への	
薬剤師に関与し てほしい具体的 な課題・要望									
【薬局記入欄】			<u>-</u> -		<del>-</del>			<u>-</u> -	
薬局名 薬剤師名				1	□訪問しま □訪問でき		予定日	月	日)
訪問できない場合	合、その理由をご	記入くだ	さい						

※ この用紙は、「患者同意書(様式1)」を添えてかかりつけの薬局にお送りください。(原本は訪看・ケアマネにて保管してください) ※ 薬局では訪問の可否を記入し、地域薬剤師会にお送りください。

薬局名:

#### 様式2(【ケアマネ・訪看等 ⇔ 薬局・薬剤師】 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)

依頼日 令和7年12月2日

芯竹田ケ

※患者情報の整理のため、薬局で記載

# 『薬剤師のおためし訪問』実施依頼書・確認書

県薬〇〇〇〇 薬局 御中

依頼者【 $\square$ ケアマネジャー・ $\square$ 訪問看護師・ $\square$ そ $\sigma$	り他(	)]
---	-----	----

事業所名 ほうらい介護支援事業所

作成者名 福島 花子

TEL. 024-549-1111 FAX.024-549-2222

E-mail

実施の経緯	☑他職種からの依頼	□薬局からの提案		
患 者 氏 名	県薬 太郎	男・女	生年月日	大正・ <mark>昭和</mark> ・平成 25 年 12 月 31 日(74 歳)
住所	〒960-8157 福島市蓬莱町五丁目〇〇番	≸地○		
利用医療機関名	ほうらいクリ	ニック	担当医師名	<mark>蓬莱 一郎</mark> 医師への報告( <mark>済</mark> ・ 未 )
	<ul><li>✓飲み忘れてしまう</li><li>□飲みすぎてしまう</li><li>✓薬についての知識不足</li><li>□薬剤のADLへの影響</li><li>□排便コントロール</li><li>□家族からの依頼</li></ul>	□飲みづらい・飲ん □嚥下困難への対応 ☑薬の管理ができて □他科受診に伴う相 □痛みの管理 □その他(	芯(経管栄養等 ていない	☑多種類服薬への不安
薬剤師に関与し てほしい具体的 な課題・要望	市内の医療機関を複数受認 不眠のため睡眠薬を多く飲 生活意識が低下し、家の中 薬の管理、服薬指導、アル	欠んで、アルコールも Pが散らかっており、	ら飲んでいる ふらつき転倒	到している。

#### 【薬局記入欄】

薬 局 名       県薬〇〇〇〇薬局         薬剤師名       会営       薬男	☑訪問します(訪問予定日 □訪問できません	12月6日)
訪問できない場合、その理由をご記入ください		

※ この用紙は、「患者同意書(様式 1)」を添えてかかりつけの薬局にお送りください。(原本は訪看・ケアマネにて保管してください) ※ 薬局では訪問の可否を記入し、地域薬剤師会にお送りください。

薬局名: 県薬〇〇〇〇薬局

様式3 (薬剤師・薬局 ⇒ 主治医) ※様式2を添付

令和	年	月	H

Ф	<b>±</b>	亚	
忠	有	否	Ħ

※患者情報の整理のため、薬局で記載

# 『薬剤師のおためし訪問』医師への事前連絡票

医療機	幾関名		
<u>科</u>	名		
氏	名	先生 御侍史	
			薬 局 名
			住 所
			電話番号
			氏 名

日頃より大変お世話になっております。

お電話させていただきました、令和7年度福島県医療介護総合確保基金事業の『薬剤師のおためし訪問』事業につきまして、別紙依頼に基づき患者さま宅を訪問させていただきたく、ご連絡申し上げます。

なお、訪問終了後は、実施報告書により、訪問内容についてご報告申し上げますので、よろしくお願いいたします。

様式3 (薬剤師・薬局 ⇒ 主治医) ※様式2を添付

令和7年12月2日

患者番号	1
ショ本は却の敢理のよ	は 本日を訂書

※患者情報の整理のため、薬局で記載

# 『薬剤師のおためし訪問』医師への事前連絡票

医療機	幾関名	ほうらいクリニック		
科	名			
氏	名	蓬莱 一郎	先生 御侍史	

薬局名	県薬〇〇〇〇薬局
住 所	福島市蓬莱町二丁目〇〇一〇
電話番号	024-549-9999
氏 名	会営 薬男

日頃より大変お世話になっております。

お電話させていただきました、令和7年度福島県医療介護総合確保基金事業の『薬剤師のおためし訪問』事業につきまして、別紙依頼に基づき患者さま宅を訪問させていただきたく、ご連絡申し上げます。

なお、訪問終了後は、実施報告書により、訪問内容についてご報告申し上げますので、よろしくお願いいたします。

#### 様式4(薬局・薬剤師 ⇒ 主治医・ケアマネ・訪看)※様式2を添付

令和	年	月	日
----	---	---	---

# 患者番号

※患者情報の整理のため、薬局で記載

# 『薬剤師のおためし訪問』実施報告書

主 治 医	先生
ケアマネジャー	様
訪問看護師	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

日頃より大変お世話になっております。

令和7年度福島県医療介護総合確保基金事業の『薬剤師のおためし訪問』事業にて、別紙依頼に基づき以下のとおり訪問いたしましたのでご報告申し上げます。

#### 【薬剤師による服薬指導・患者生活状況確認内容等】

L A MIN	1-0, 0 mk.	未旧等 芯石工石状加胜心门	H 1) A		
訪「	問 日		訪問薬剤師氏名	1	
※確認し	した項目に	こチェック			
J	服薬状況			ADL	. の状況
1	嚥下機能の	の状況		QOI	しの状況
3	薬の管理	・保管状況		食欲	の状況
-	残薬の状活	元 况		食事	量、食事回数の状況
i	副作用の	発現状況		排泄	の状況
;	薬効に関	する説明		睡眠	の状況
J	服薬意義の	の理解度		ふら	つき、転倒の状況
,	他科受診	の状況		認知	機能の状況
,	併用薬の	有無		糖尿	病の状況
1	健康食品	・サプリメントの接種の有無		痛み	の発現状況
7	相互作用。	の発現		うつ	の発現状況
	その他				
訪問時に	に実施した	た具体的内容			

薬 局 名 担当薬剤師名 即

薬局住所 電話番号 FAX 番号

#### 様式4(薬局・薬剤師 ⇒ 主治医・ケアマネ・訪看)※様式2を添付

令和7年12月20日

# 患者番号

※患者情報の整理のため、薬局で記載

# 『薬剤師のおためし訪問』実施報告書

主 治 医	ほうらいクリニック 蓬莱 一郎	先生
ケアマネジャー	ほうらい地域包括支援センター 介護 花美	様
訪問看護師	ほうらい介護支援事業所 福島 花子	様

日頃より大変お世話になっております。

令和7年度福島県医療介護総合確保基金事業の『薬剤師のおためし訪問』事業にて、別紙依頼に基づき以下 のとおり訪問いたしましたのでご報告申し上げます。

#### 【薬剤師による服薬指導・患者生活状況確認内容等】

訪	問日	12月6日	訪問薬	<b>薬剤師氏名</b>	<b>.</b>	会営 薬男
※確認した項目にチェック						
	服薬状況				AD	L の状況
	嚥下機能の	の状況		レ	QO	L の状況
レ	薬の管理	・保管状況			食欲	欠の状況
レ	残薬の状活	元 兄			食事	事量、食事回数の状況
	副作用の	発現状況			排泄の状況	
レ	<b>ン</b> 薬効に関する説明				睡眠の状況	
レ	レ 服薬意義の理解度			\$	らつき、転倒の状況	
レ	レ 他科受診の状況			認失	旧機能の状況	
レ	レ 併用薬の有無			糖质		
	健康食品・サプリメントの接種の有無				痛み	みの発現状況
レ	相互作用の発現				うつ	つの発現状況
	その他					

訪問時に実施した具体的内容

他科受診、併用薬の確認を行い、薬の管理・保管状況を把握し残薬の整理を行った。 アルコールとの併用による薬の効果について説明し、服薬意識の理解を深めた

薬局名 県薬〇〇〇〇薬局 担当薬剤師名 会営 薬男

(EII)

薬局住所 福島市蓬莱町二丁目〇〇一〇

電話番号 024-549-9999 FAX 番号 024-549-8888

令和 年 月

残薬状況

訪問前訪問後

H

様式5 (ケアマネ・訪看等 ⇒ 薬局・薬剤師 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)

中本平口	
思白笛写	

※患者情報の整理のため、薬局で記載

『薬剤師のおためし訪問』実施評	価書
木月1000~703/2070の月1013  大川00丁	四百

【定期訪問時等に評価をお願いします】 評価者【ロケアマネジャー ロ 訪問看護師 ロその他())】

事業所名

担当者名

TEL.

FAX.

管理状況

訪問前 訪問後

E-mail

1 総合評価 (該当する項目にチェックしてください)

訪問前訪問後

服薬状況

	評価	□不 良 □不 良 □不 良 □不 良 □不 良 □やや不良 □やや不良 □やや不良 □にぼ良好 □にぼ良好 □にぼ良好 □良 好 □良 好 □と の 他 □そ の 他 □そ の 他	□やや不良       □やや不良         □ほぼ良好       → □ほぼ良好         □良       好					
	特記 事項							
2		調剤上の工夫(粉砕、簡易懸濁法等)により、服薬状況が改善し 1日の服薬回数が減った。 類回受診、飲みすぎが減った。 飲み残し、飲み忘れ(残薬)の整理ができた。 薬に対する理解が向上した。 相互作用が回避できた。 QOLが向上した。 痛みの管理が改善した。 家族の負担が軽減された。	た。 類が減った。 や整理にかかる時間が減った。 回避できた。 重複投与が回避できた。 の影響を回避できた。 トロールが改善した。 携が改善した。					
	3 今回の事業で、薬剤師との連携をどう感じましたか。(該当項目にチェックしてください)							
	□有用であった □やや有用であった □あまり有用でなかった □有用でなかった <b>そのように感じた理由をお聞かせください</b>							

4 今後の在宅医療・介護における連携についてご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。担当薬剤師、薬局にご提出をお願いします。

薬局名:

□ 他科との重複投与が回避できた。

□ ADLへの影響を回避できた。□ 排便コントロールが改善した。

□ 多職種連携が改善した。

様式5 (ケアマネ・訪看等 ⇒ 薬局・薬剤師 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)

患者番号	1

令和7年12月23日

)

※患者情報の整理のため、薬局で記載

### 『薬剤師のおためし訪問』実施評価書

【定期訪問時等に評価をお願いします】

評価者【ロケアマネジャー ☑ 訪問看護師 □その他(

事業所名 ほうらい介護支援事業所

担当者名 福島 花子

TEL. 024-549-1111 FAX. 024-549-2222 E-mail

1 総合評価(該当する項目にチェックしてください)

		服薬状況 管:		雪理状況   残薬状泡		<b>聚状</b> 》	兄		
ľ		訪問前	訪問後訪問前訪問後		訪問後	訪問前	-	訪問後	
		□不良;	⊹□不 良	☑不 良	:	□不良	☑不 良	1	□不良
	評価	☑やや不良	□やや不良	□やや不良	:	□やや不良	□やや不良		□やや不良
	рт ІШ	□ほぼ良好 →	□ほぼ良好	□ほぼ良好		☑ほぼ良好	□ほぼ良好		
		□良  好	☑良 好	□良 好		□良  好	□良 好		☑良 好
		□その他	□そ の 他	□そ の 他	i	□そ の 他	□その他 □そ		□そ の 他
	特記								
Ĺ	事項								
2	「薬	剤師のおためし訪	問」実施後の状	況					
		薬袋などの整理・	保管方法の改善	によって服薬物	犬況カ	<b>ぶ改善した。</b>			
		一包化によって服	薬状況が改善し	た。					
		薬の整理箱、服薬	•		_				
		〕 剤形変更(口腔内崩壊錠等)により、服薬状況が改善した。							
		□ 1日の服薬回数が減った。							
		頻回受診、飲みす							
		飲み残し、飲み忘		※理ができた。			整理にかかる	寺間カ	ぶ減った。
	▽ 薬に対する理解が向上した。 □ 副作用が回避できた。								

3 今回の事業で、薬剤師との連携をどう感じましたか。(該当項目にチェックしてください)

✓有用であった □やや有用であった □あまり有用でなかった □有用でなかった

そのように感じた理由をお聞かせください

利用者の服薬状況が改善し、訪問看護師の負担が減り、別のケアに時間を取れるようになった。 薬とアルコールの作用についても説明していただき、本人の安心にもつながったと思われる。

4 今後の在宅医療・介護における連携についてご意見をお聞かせください。

今回のおためし訪問を利用し、気軽に相談でき、改善につながる支援をいただきよかった。 高齢者の中には、処方された薬を自己判断で飲むのをやめているのに、医師や薬剤師には話さず。毎回薬だけをもらってくるような例も多いので、高齢者を見守り、支える一員として薬剤師にも積極的に関わっていただけるようこちらからも助言を求めていきたい。

ご協力ありがとうございました。担当薬剤師、薬局にご提出をお願いします。

薬局名: 県薬〇〇〇〇薬局

□ 相互作用が回避できた。 ☑ QOLが向上した。

□ 痛みの管理が改善した。

□ その他(

☑ 家族の負担が軽減された。

様式 6 (薬局・薬剤師 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)

			報台	告日 令和 年	F 月 日
番号					
の整理のため		割師のおためし	.訪問』成果報	告書	
-11-		7111-F 47 007 C 47 C	/W/J  -JE/50/N TM	НВ	
楽	<u>削帥会</u> 御中	·甘· F	コ <i>ね</i>		
				FΔX	₹
		TEL	•	$\Gamma A Z$	ν.
うのおため	し訪問』を実施し	ましたので、下記	のとおり報告しま	す。	
報】					
□認定	なし	性別	男性 • 女性	年 齢	歳
口要支	援1	<b>居住形能</b>	口独居 口夫婦	めのみ □複数世帯	帯 □施設入居
口要支	援 2	冶压沙思	口その他(		)
口要介	`護1		事前打合せ	おためし訪問	アフターフォロー
口要介	`護2	同数	同		
口要介	`護 3				
口要介	`護 4	宝施日			
口要介	`護 5	入池口			
ロその	D他(				)
容】			_	Hamilat Ma	_
<del>時</del> /-	□残薬	□ 食欲		副作用	
	□ 食事重・凹鋭   □ 効果	以 □ 楽勿説 <sup>り</sup> □ 睡眠			
<i>,</i> , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	□ 理解度				J > / L
	□ 併用架			<b>建尿及皿・サノサノ</b>	)
1- / + -					
א ניו ניו					
し訪問					
の対応	□ おためし訪問				)
	□ その他(				)
見見をおぼし					
	の報 ロロロロロロロ ア に見的 した 薬 め 定支支介介介のの に目 たの容 問	『本学 で記載 『本学 で記載 『本学 で記載 『本学 で記載 『本学 で記載 御中 を また が は 1	変異回のため、薬局で記載	●	変剤師のおためし訪問』成果報告書         薬剤師名         TEL.       FAX         iのおためし訪問』を実施しましたので、下記のとおり報告します。         i報】       □認定なし       性別       男性・女性       年齢         □要支援1       居住形態       □ 決婦のみ □複数世界         □要支援2       居住形態       □その他(         □要介護4       実施日       □ 数       回         □要介護4       実施日       □ 放外果       □ 操作の状況         □を介護5       □ 本の他(       個互作用       ・ 本のとのとのとのとのとのとのとのでき、転倒の対果         □ は、た項目       □ 大の世界度       □ 他科受診       □ 認知症         □ 内容       □ をかしし訪問       □ おためし訪問・サブリン         ことで行った       10 関連の内容       ○ の対に行った         ○ の対応       □ を療・介護保険による在宅医療に移行(移行予定)         □ おためし訪問事業のみで終了(理由:       で在宅医療         ことに行った       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

53

<u>薬局名:</u>

#### 様式6 (薬局・薬剤師 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)

報告日 令和7年12月23日

思者番号	1

※患者情報の整理のため、薬局で記載

# 『薬剤師のおためし訪問』成果報告書

福島 薬剤師会 御中

薬局名 県薬〇〇〇〇薬局 薬剤師名 会営 薬男

TEL.024-549-9999 FAX.024-549-8888

『薬剤師のおためし訪問』を実施しましたので、下記のとおり報告します。

#### 【患者情報】

	□認定なし	性別	男性 ・ 女性	年 齢	74 歳
	口要支援 1	居住形態	☑独居 □夫婦	のみ 口複数世帯	· 口施設入居
	☑要支援2	冶住形态	口その他(	)	
介護	口要介護 1		事前打合せ	おためし訪問	アフターフォロー
認定 状況	口要介護 2	回数	1 🗇	3 🛭	1 🗆
	口要介護 3	凹 奴	l E	<b>5</b> 回	I EI
	□要介護 4	実施日	12/3	12/6、12/10	12/16
	□要介護 5	<b>天</b> 爬口		12/13	
	□その他(				)

#### 【訪問内容】

訪 問 時 に 確認した項目	☑ 服薬状況       ☑ 相互作用       □ 嚥下機能の状況         ☑ ADL       ☑ 管理・保管状況       ☑ QOL         ☑ 残薬       □ 食欲       □ 副作用         □ 食事量・回数       ☑ 薬効説明       □ 排泄         ☑ 効果       ☑ 睡眠       □ ふらつき・転倒         ☑ 理解度       ☑ 他科受診       □ 認知症         ☑ 併用薬       □ 痛み       □ 健康食品・サプリメント         □ うつ       □ その他(
訪問時に行った 薬学的管理の 具体的内容	服薬状況の確認と残薬の整理。まだ使える薬には用途を書いて分類。 眠れないとの話で睡眠薬を大量に服用していたが、睡眠時間は十分である。 独居の寂しさもあり、アルコールを大量に摂取している。 薬の効果およびアルコールと併用した際の影響を説明した。
おためし訪問終了後の対応	<ul><li>☑ 医療・介護保険による在宅医療に移行(移行予定)</li><li>□ 継続して訪問しているが保険請求していない</li><li>□ おためし訪問事業のみで終了(理由: )</li><li>□ その他( )</li></ul>
薬剤師が在宅医療	在宅医療を継続していくうえで、医療も介護も切り離せない重要なものです。
に関わることにつ	体調を安定させるためにも薬は欠かせないものであり、その専門家である薬剤師がより
いてご意見をお聞	一層、在宅医療に取り組むことにより、本人の体調安定と在宅生活の継続が見込まれると
かせください	考えます。

薬局名: 県薬〇〇〇〇薬局

様式7(薬局・薬剤師 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県	県薬剤師会)	_			
患者番号 おためし訪問時の残薬整理の場合、お <b>残薬整理</b> ためし訪問の患者番号と同じ番号を記	里報告書	報告日 令和	年	月	日
	局 名				
【患者情報】	削師名				
年齢 歳 性別 男・女 薬の管理者	本人・家族	・その他(		)	
服用薬の種類 種類					
【残薬の原因】※複数回答可 □飲み忘れ □自己判断で中止 □受診日と処方日勢□その他(	数の不一致	□服用方法との	の不一致	]頓服の為	)
【残薬改善の工夫】※複数回答可 □服薬支援(一包化・お薬カレンダー等) □服薬方法の提案(服薬時点変更・剤形変更等) □その他(			照会等)		)
【残薬数】					
品名・規格	数量	対 応	薬価	金額	•
		調節・廃棄			
		調節・廃棄			
		調節・廃棄			

四 <sup>位 · </sup>	双 里	<b>入</b> 1 // L	* "	亚()
		調節・廃棄		
	※ 太枠内	引は事務局記入	整理効果額	

55

# 様式7 (薬局・薬剤師 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)

患者番号 1	報告日 令	和7年12月27日
おためし訪問時の残薬整理の場合、おためし訪問の患者番号と同じ番号を記	残薬整理報告書	
載してください。 ※来局時の残薬整理の場合は番号不要	薬 局 名 県薬〇〇〇薬局	
【患者情報】	」 薬剤師名 会営 薬男	
<u>年齢 73歳</u> 性別 <mark>男</mark> ・女	薬の管理者 本人・家族・その他(	)
服用薬の種類 8種類		
【残薬の原因】※複数回答可		
	☑受診日と処方日数の不一致 □服用方法との不一致	女 □頓服の為
□その他(		)
【残薬改善の工夫】※複数回答可		
☑服薬支援(一包化・お薬カレンク	ダー等)	
□服薬方法の提案(服薬時点変更	・剤形変更等) □家族等に協力を依頼	
□その他(		)

# 【残薬数】

品名・規格	数量	対 応	薬価	金額
カンデサルタン錠 8mg「あすか」	<b>75</b> 錠	調節・廃棄	51. 3	3, 847. 5
シルニジピン錠 20mg「テバ」	135 錠	調節・廃棄	44. 2	5, 967. 0
ヒドロクロロチアジド錠 25mg「トーワ」	72 錠	調節・廃棄	5. 7	410. 4
アトルバスタチン錠 10 mg「サワイ」	37 錠	調節・ <mark>廃棄</mark>	29. 2	1, 080. 4
酸化マグネシウム錠 250mg「ケンエー」	28 錠	調節・廃棄	5. 7	159. 6
酸化マグネシウム錠 250mg「ケンエー」	232 錠	調節・ <mark>廃棄</mark>	5. 7	1, 322. 4
		調節・廃棄		
	※ 太枠内	は事務局記入	整理効果額	12, 787. 3

報告日 令和 年 月 日

# 『お薬連携手帳』活用報告書

薬 局 名

『お薬連携手帳』配布枚数

枚

# ○『お薬連携手帳』内の各職種の名刺の挟み込み状況について

	患者	情報		『お薬連	携手帳』への	名刺の挟み込み	かの有無
	年 齢 性 別		ケアマネ 医師		訪問看護師	訪問介護師	その他
例	70 代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	他薬局の薬剤師
1	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	
2	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	
3	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	
4	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	
5	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	
6	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	
7	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	
8	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	
9	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	
10	代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	

<u>〇お薬手帳カバーを活用し</u>	<u>た多職種連携について、</u>	活用方法やご意見等お聞かせく	ださい。

報告先 FAX 番号. 県薬事務局 行 024-549-2209

様式8(薬局・薬剤師 ⇒ 福島県薬剤師会)

報告日 令和 年 月 日

# 『お薬連携手帳』活用報告書

薬 局 名 県薬〇〇〇薬局

# 『お薬連携手帳』配布枚数 8枚

#### ○『お薬連携手帳』内の各職種の名刺の挟み込み状況について

	患者	情報		『お薬連携手帳』への名刺の挟み込みの有無							
	年 齢 性 別		ケアマネ 医 師		訪問看護師	訪問介護師	その他				
例	70 代	男・女	有・無	有 ・ 無	有・無	有 • 無	他薬局の薬剤師				
1	80 代	男 ・ <mark>女</mark>	有・無	有・無	有・無	有・無	歯科医師、栄養士				
2	70 代	男・女	有・無	有 ・ 無	有・無	有・無					
3	70 代	男・女	有・無	有・無	有・無	有・無	言語聴覚士				
4	60 代	男・女	有 ・ 無	有 ・ 無	有 • 無	有・無					
5	80 代	男・女	有・無	有 • 無	有 • 無	有・無					
6	80 代	男 ・ <mark>女</mark>	有 ・ 無	有 • 無	有 ・ 無	有・無					
7	60代	男 ・ <mark>女</mark>	有 ・ 無	有 • 無	有 ・ 無	有・無					
8	70 代	男 ・ <mark>女</mark>	有 ・ 無	有 • 無	有 • 無	有 · 無					
9	代	男・女	有 • 無	有 • 無	有・無	有・無					
10	代	男・女	有 • 無	有 • 無	有 • 無	有 • 無					

#### ○お薬手帳カバーを活用した多職種連携について、活用方法やご意見等お聞かせください。

在宅医療に携わる他職種の連絡先等を一元的に把握することができ、相談先の把握が容易になった。 また、患者の状態を他職種間で共有することができ、副作用の予防やケアプランへの反映に役立てることができた。

報告先 FAX 番号. 県薬事務局 行 024-549-2209

# 『薬剤師の同行訪問事業』実施依頼書

依頼日 令和 年 月 日

依頼者薬 局 名依頼者名

TEL. FAX.

【同行訪問の種類】※いずれかにチェックをつけてください。

在宅医療の経験豊富な薬剤師が在宅訪問をする際に、同行を希望します。	

在宅訪問をする際に、経験豊富な薬剤師の同行を ※同行訪問にあたり訪問する患者の情報につい											ر <i>ر</i> ځ	
利用医療機関名								担医師	当			
生	年	月	日	大正・昭 年	日和・平成 月		( 歳)	性	別	男・女	介護認定 区 分	
住(番	地の	前ま	所 で)	₹								
患 処 特	方 記	情内事	報 容 項									

#### 【地域薬剤師会記入欄】

派遣者	勤務先	
備考		

# 『薬剤師の同行訪問事業』実施依頼書

依頼日 令和7年12月2日

依頼者 薬 局 名 ほうらい○○薬局依頼者名 訪問 郁子

TEL. 024-555-5555 FAX. 024-666-6666

【同行訪問の種類】※いずれかにチェックをつけてください。

【地域薬剤師会記入欄】

在宅 郁代

派遣者

備考

レ		在宅	医療の	)経験豊富な薬	<b>薬剤師が在</b>	宅訪問を	する際	に、同行	行を希	希望します。		
				とする際に、糸 坊問にあたり記							۲۷,°	
利用医療機関名			関名					担医師	当名			
生	年	月	日	大正・昭和 年	・平成 月	日(	歳)	性	別	男・女	介護認定 区 分	
住 (番	地の	) 前ま	所 で)	〒								
患 処 特	方 記		報 容 項									

県薬〇〇〇〇薬局

勤務先

# 『薬剤師の同行訪問事業』に関する同意書

【事業期間:令和7年10月~令和8年2月まで】

一般社団法人福島県薬剤師会が「令和7年度福島県地域医療介護総合確保基金事業」において、「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」として実施する『薬剤師の同行訪問』について、私の個人情報を必要最低限の範囲で利用することに同意します。

令和	年	月	日							
利用者	名	<u>住 所</u>								
		氏 名								
		生年月日			别 !	男・女	<u> </u>	電話番号		
		(代理記	入の場合)代刊	理者氏名					(続柄)	

#### 1 事業の目的

この事業は、在宅医療の経験の浅い薬剤師と在宅医療の経験豊富な薬剤師が同行して患者さまのお宅を訪問し、薬剤管理・服薬管理等を行うことにより、在宅医療における経験の浅い薬剤師のスキルアップを目指して実施します。

#### 2 個人情報を使用する目的

- (1) 事業を円滑に進めるために必要となる他職種等への情報提供
- (2) 事業を実施したことによる効果の検証や報告書の作成のために行う福島県薬剤師会及び関係機関への情報提供

#### 3 提供する情報

氏名、性別、生年月日、年齡、住所、電話番号、利用医療機関等

#### 4 使用にあたっての条件

- (1) 得られた情報は、この事業に関わる者のみがデータを閲覧できるものとします
- (2) この事業で知り得た個人情報は、法律の規定がある場合等の例外を除き、明示した目的以外には使用しません

#### 5 事業終了後の個人情報の取扱いについて

事業終了後は、個人が特定される資料等はシュレッダーにかけて廃棄し、電子媒体については消去します ※原本は薬局にて保管してください。

薬局名:		
<u> 来问句:</u>		

### 『薬剤師の同行訪問事業』に関する同意書

【事業期間:令和7年10月~令和8年2月まで】

一般社団法人福島県薬剤師会が「令和7年度福島県地域医療介護総合確保基金事業」において、「多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業」として実施する『薬剤師の同行訪問』について、私の個人情報を必要最低限の範囲で利用することに同意します。

令和7年12月5日

#### 利 用 者 名 住 所 福島市蓬莱町五丁目〇〇番地〇

氏 名 県薬 太郎

<u>生年月日 昭和 25 年 12 月 31 日 性別 男 ・ 女 電話番号 024-549</u>-0000

(代理記入の場合)代理者氏名

(続柄)

#### 1 事業の目的

この事業は、在宅医療の経験の浅い薬剤師と在宅医療の経験豊富な薬剤師が同行して患者さまのお宅を 訪問し、薬剤管理・服薬管理等を行うことにより、在宅医療における経験の浅い薬剤師のスキルアップを目 指して実施します。

#### 2 個人情報を使用する目的

- (1) 事業を円滑に進めるために必要となる他職種等への情報提供
- (2) 事業を実施したことによる効果の検証や報告書の作成のために行う福島県薬剤師会及び関係機関への情報提供

#### 3 提供する情報

氏名、性別、生年月日、年齡、住所、電話番号、利用医療機関等

#### 4 使用にあたっての条件

- (1) 得られた情報は、この事業に関わる者のみがデータを閲覧できるものとします
- (2) この事業で知り得た個人情報は、法律の規定がある場合等の例外を除き、明示した目的以外には使用しません

#### 5 事業終了後の個人情報の取扱いについて

事業終了後は、個人が特定される資料等はシュレッダーにかけて廃棄し、電子媒体については消去します ※原本は薬局にて保管してください。

#### 薬局名: 県薬〇〇〇英局

報告日 令和 年 月

日

# 『薬剤師の同行訪問事業』実施後のアンケート

	このアンケートは、在宅訪問の経験豊富な薬剤師に訪問に同行してもらうことによって、どのように感じられたか等を把握し、次年度以降につなげていくためのものです。												
【依頼し	【依頼した薬剤師の情報】												
氏 名				薬局名									
性別		男・女	年齢		歳代	薬局での 通算勤務年数	約	J	年間				
在宅医療の経験		<ul><li>□ ある-経験年数 ( 年前くらいから年に 回くらい)</li><li>□ ない-その理由 ( )</li></ul>											
	<ul><li>無菌調剤 □ ある - 経験した場所 □ 現在の勤務先 □ 以前勤めていた薬局 □ 以前勤めていた病院 ○ ない その他 ( その他 ( ) )</li></ul>												
【勤務す	る薬局の	の情報】				1							
調剤基	本料	調剤基準	<b>本料</b>	勤務している	薬剤師数	常勤	名	非常勤	名				
の区	分	(	)	勤務している	事務員数	常勤	名	非常勤	名				
【同行訪	問事業に	こ参加して感じ	たこと】										
1 在宅	医療に	対して、今まで	で以上に積極	的に取り組み	たいです	か							
	こそう	思う □ 名	ややそう思う	□ 今ま	でと変わ	らない 🗆	わから	ない					
2 多聯	は種との	連携に、今まで	で以上に積極	的に取り組み	たいですれ	<b>か</b>							
	こそう	思う □ 名	ややそう思う	□ 今ま	でと変わ	らない 🗆	わから	ない					
3 今後	<b>长、在宅</b>	医療への依頼が	があった際に	、対応したい	ですか								
	こそう	思う □ 名	ややそう思う	□ 今ま	でと変わ	らない 🗌	わから	ない					
4 同行	訪問事	業に参加しての	D感想(よか	った点やもっ	と教えて	ましかった点な	こど)を	お聞かせく	ださい。				

※ ご協力ありがとうございました。この用紙は訪問に同行いただいた薬剤師にご提出ください。

# 『薬剤師の同行訪問事業』実施後のアンケート

報告日 令和7年12月20日

このアンケートは、在宅訪問の経験豊富な薬剤師に訪問に同行してもらうことによって、どのように感じられたか等を把握し、次年度以降につなげていくためのものです。

#### 【依頼した薬剤師の情報】

氏 名	訪問 郁子	薬局名	ほうらい○○薬局			
性別	男・女年齢	30歳代	<b>薬局での</b> <b>適算勤務年数</b> 約 <b>5</b> 年間			
在宅医療 の経験	<ul><li>□ ある-経験年数(</li><li>☑ ない-その理由(</li></ul>	年前くらいから年に	回くらい)			
無菌調剤 の経験	<ul><li>□ ある-経験した場所 □現を</li><li>✓ ない その何</li></ul>		動めていた薬局 □以前勤めていた病院 ))			

#### 【勤務する薬局の情報】

調剤基本料	調剤基本料	勤務している薬剤師数	常勤	<b>2</b> 名	非常勤	<b>1</b> 名
の区分	( 1 )	勤務している事務員数	常勤	<b>3</b> 名	非常勤	<b>2</b> 名

#### 【同行訪問事業に参加して感じたこと】

教わり、その見極めも大切だと思いました。

1	在宅医療に対して、今まで以上に積極的に取り組みたいですか
	☑ そう思う □ ややそう思う □ 今までと変わらない □ わからない
2	多職種との連携に、今まで以上に積極的に取り組みたいですか
	□ そう思う 🗸 ややそう思う □ 今までと変わらない □ わからない
3	今後、在宅医療への依頼があった際に、対応したいですか
	□ そう思う 🗸 ややそう思う □ 今までと変わらない □ わからない
4	同行訪問事業に参加しての感想(よかった点やもっと教えてほしかった点など)をお聞かせください。
在宅	E医療については勉強会等での漠然とした知識しかなかったので、実際の現場に同行することで、患者との契約から必要
な書	<b>書類、訪問の際に必要な知識や技術、他職種への情報提供や連携の仕方を理解することができ、良い経験になった。</b>
在宅	E医療のきっかけになりそうな事例や残薬の整理に関するアドバイスなどについて、もっと教えてほしかった。
同行	すさせていただいた先生には、訪問前に様々な資料を用意していただけたり、患者さんの背景などの情報を教えていただ
いた	こりしました。
宝陽	るの訪問の様子を見ても、 どうすれば串者さんにとってお薬が飲みやすいかなど、 串者さんのことをとても感は得ている。

※ ご協力ありがとうございました。この用紙は訪問に同行いただいた薬剤師にご提出ください。

ことがわかりました。患者さんが自分でできる範囲のことはやってもらうとか、なんでも手を出していいのではないのだと

#### 様式D (経験豊富な薬剤師 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)

# 『薬剤師の同行訪問事業』実施報告書

					幸	R告日 令和	和 年	月	日
	)同行訪問 :患者 <b>の情</b> 報	–	施しましたの	)で、下記の	とおり報告し	ます。			
性別	男・女	年齢	歳	介護認定		訪問回数 訪問日			
【依頼した	-薬剤師(約	経験の浅い	薬剤師)の情	<b>青報</b> 】					
氏 名				薬局名					
性別	男	· 女	年齢	□20歳	代 □30歳代	□40歳代	□50歳代	□60歳代以	(上
【依頼を受	とけた薬剤的	師(経験豊	富な薬剤師)	の情報】					
氏 名				薬局名					
性別	男	· 女	年齢	□20歳	代 □30歳代	□40歳代	□50歳代	□60歳代以	(上
【実習内容	F]								
訪問で確認した	前に□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	〕他のケブ	等の取り交わ アサービスの (				の確認方法 ネなど多職種	種との関わり	り方 )
訪問(	時に□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	<ul><li>相互作月</li><li>一相互作月</li><li>一他科受記</li><li>一薬の管理</li><li>二生活状態</li><li>一身体機能</li></ul>	能(嚥下機能	把握 OL(食事、	□ 副们 □ 健身	乗食品・サン カ、痛みの多 等)の把握	   大況の把握   プリメントの   発現状態の打   ほ		)
訪問って確認した		算定要作	ケアマネへの: 件の解釈 (	報告書の作品	戊・報告 				)
	状 況感 想								

<sup>※</sup> 同行訪問依頼者への「同行訪問実施後アンケート」と共に、提出してください。

#### 様式D (経験豊富な薬剤師 ⇒ 地域薬剤師会 ⇒ 福島県薬剤師会)

# 『薬剤師の同行訪問事業』実施報告書

報告日 令和7年12月25日

『薬剤師の同行訪問事業』を実施しましたので、下記のとおり報告します。

#### 【訪問した患者の情報】

₩ D1	里・ケ	左龄	71 生	介護認定	曲士福の	訪問回数	2 💷
性別	一一一一	年 齢	71 歳	区 分	安文振2	訪問日	(12/10、12・17)

#### 【依頼した薬剤師(経験の浅い薬剤師)の情報】

氏 名	訪問 郁子	薬局名	ほうらい○○薬局
性別	男・女年齢	□20歳代	☑30歳代 □40歳代 □50歳代 □60歳代以上

#### 【依頼を受けた薬剤師(経験豊富な薬剤師)の情報】

氏 名	在宅が代	薬局名	県薬〇〇〇〇薬局
性別	男・女年	□20歳	代 □30歳代 ☑40歳代 □50歳代 □60歳代以上

#### 【実習内容】

訪 問 前 に確認した項目	<ul><li>✓ 契約書等の取り交わし方</li><li>✓ 請求する保険の確認方法</li><li>✓ 他のケアサービスの内容の確認</li><li>✓ 医師やケアマネなど多職種との関わり方</li><li>○ その他(</li></ul>			
訪 問 時 に確認した項目	<ul> <li>☑ 服薬状況の把握</li> <li>☑ 相互作用の発現状況の把握</li> <li>☑ 他科受診・併用薬の把握</li> <li>☑ 健康食品・サプリメントの把握</li> <li>☑ 薬効、痛みの発現状態の把握</li> <li>☑ 生活状態(ADL・QOL(食事、睡眠、排泄)等)の把握</li> <li>☑ 身体機能(嚥下機能・ふらつき・うつ・認知症等)の把握</li> <li>□ その他(</li> </ul>			
訪 問 後 に確認した項目	<ul><li>✓ 医師・ケアマネへの報告書の作成・報告</li><li>✓ 算定要件の解釈</li><li>□ その他(</li></ul>			
実 習 状 況 及 び 感 想	同居のご夫婦の訪問に同行してもらいました。 奥さんは寝たきりですが、薬の管理はできるためヒートのまま。 旦那さんは耳が遠くて服薬コンプライアンス不良のため、お薬カレンダーでお届けしています。 患者さんの状態に合わせた服薬支援をしていることを理解してもらえたと思います。			

<sup>※</sup> 同行訪問依頼者への「同行訪問実施後アンケート」と共に、提出してください。